この写真は大気社の海外拠点があるタイの世界遺産、スコータイ歴史公園です。

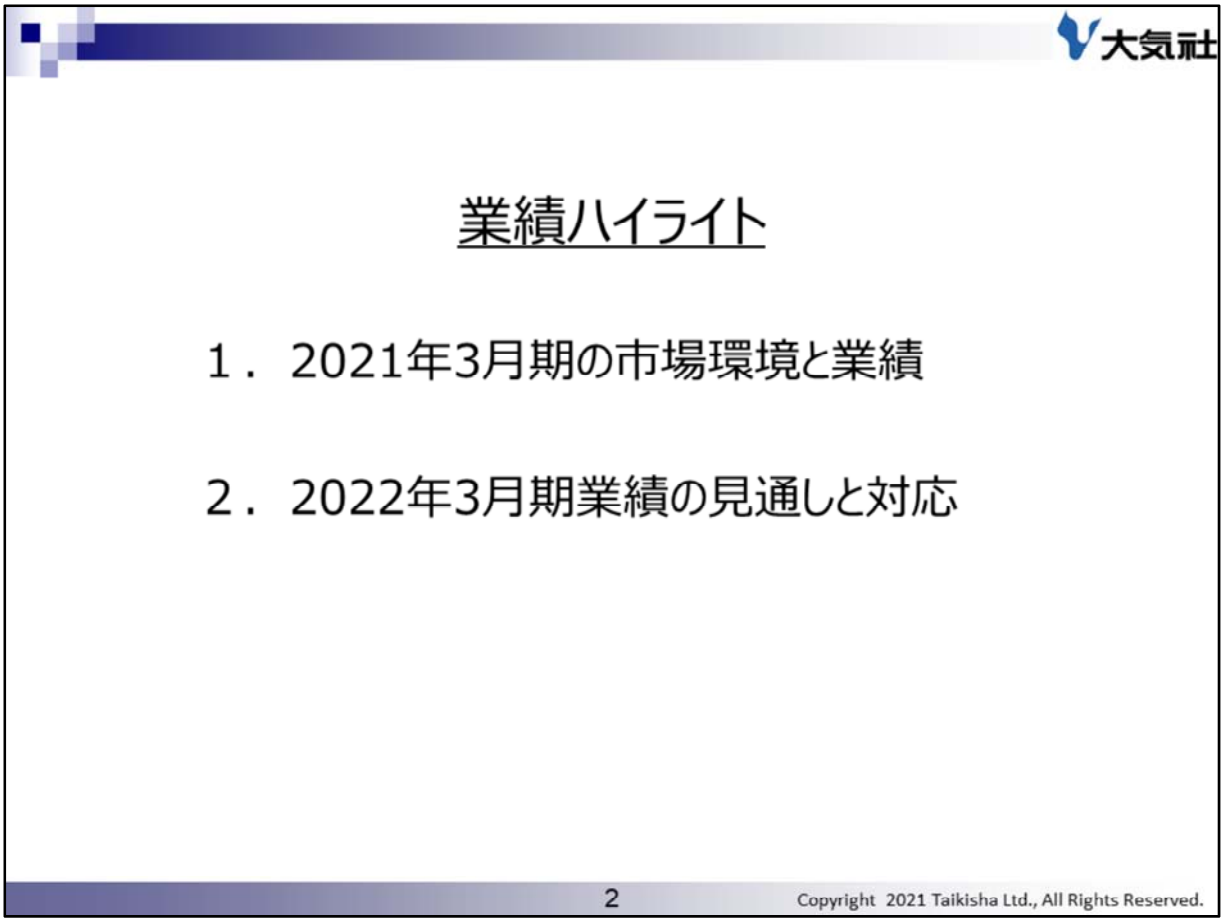
株式会社 大気社

2021年3月期（2020年度）

決算説明資料

2021年5月20日

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

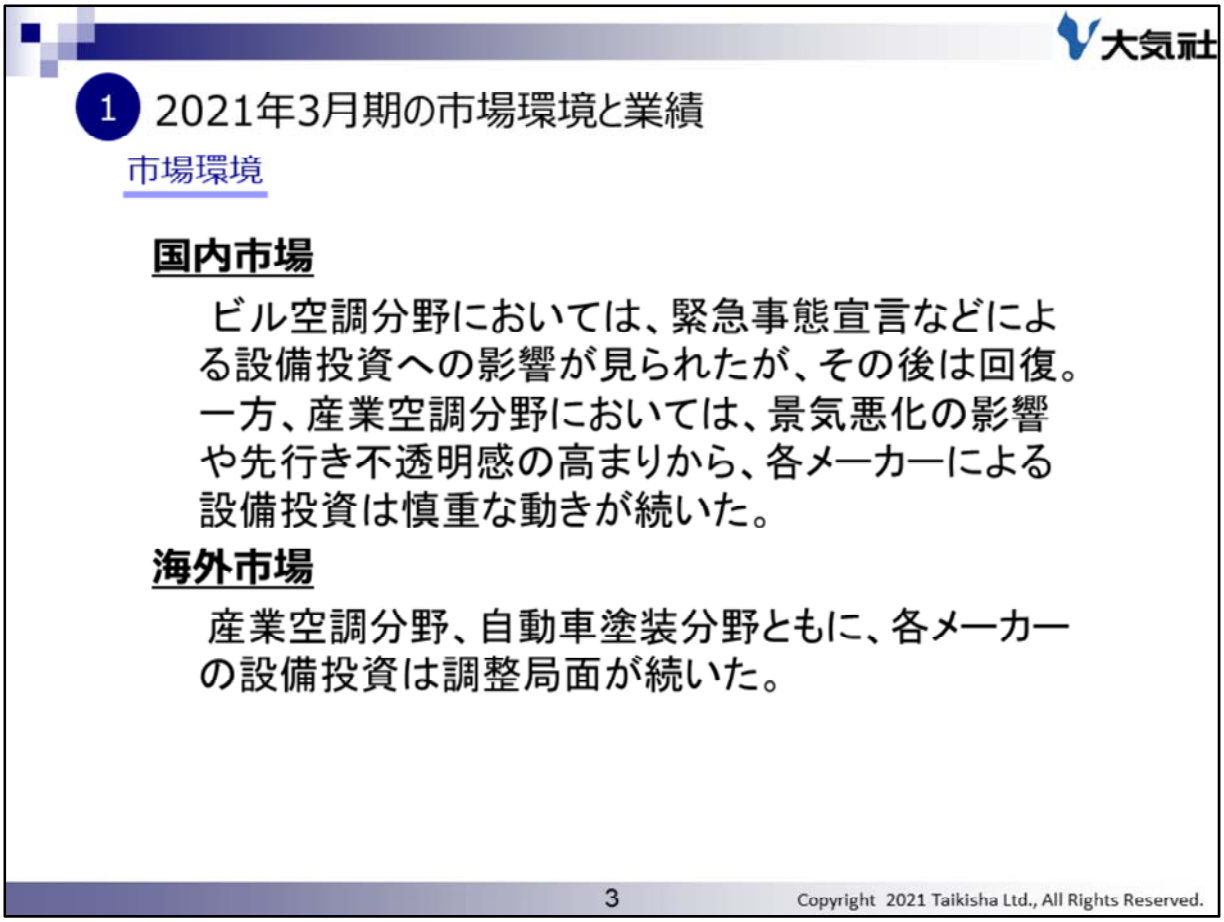


社長の加藤でございます。

本日は、弊社の決算説明会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前回に引き続き、今回もリモートでの決算説明とさせていただきました。

私からは、2021年3月期の市場環境と業績、そして2022年3月期業績の見通しについてご説明させていただきます。



まず、当社グループにおける市場環境につきましては、国内市場はビル空調分野においては、緊急事態宣言などによる設備投資への影響が見られましたが、その後は回復しました。

一方、産業空調分野においては、景気悪化の影響や先行き不透明感の高まりから、各メーカーによる設備投資は慎重な動きが続きました。

海外市場は、産業空調分野、自動車塗装分野ともに、各メーカーの設備投資は調整局面が続きました。

大気社

1 2021年3月期の市場環境と業績

連結業績

単位：億円

	期初予想	2021.3 実績	差異
受注工事高	2,020	2,004	-15
完成工事高	2,030	2,025	-4
経常利益	120	122	2
（同率）	5.9%	6.1%	0.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	80	82	2
（同率）	3.9%	4.1%	0.1%

- 受注工事高は、環境システム、塗装システム両事業の海外において、新型コロナウイルス感染拡大の影響による景気悪化に伴い、設備投資の調整局面が続き、全社では期初予想を下回った。
- それ以外の項目では期初予想に対して、ほぼ想定通りの結果となった。

4

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

このような状況のもと、受注工事高は、環境システム、塗装システム両事業の海外において、新型コロナウイルス感染拡大の影響による景気悪化に伴い、設備投資の調整局面が続き、全社では期初予想を下回りました。

それ以外の項目では期初予想に対して、ほぼ想定通りの結果となりました。

2 2022年3月期業績の見通し

業績予想

単位：億円

	2021.3 実績(a)	2022.3 予想(b)	2022.3 中期経営計画(c)	差異 (b-a)	差異 (b-c)
受注工事高	2,004	2,440	2,650	435	-210
完成工事高	2,025	2,180	2,600	154	-420
経常利益	122	135	160	12	-25
（同率）	6.1%	6.2%	6.2%	0.1%	0.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	82	84	100	1	-16
（同率）	4.1%	3.9%	3.8%	-0.2%	0.1%

- 全社では、全ての項目で増加を見込む。
- 中期経営計画（2019年度～2021年度）の最終年度に当たる2022年3月期の目標達成は困難な見通しであるが、目標数値に近づけるよう引き続き努力を継続していく。

5

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

続いて、2022年3月期の通期業績予想についてご説明いたします。全社では、全ての項目で増加を見込んでおります。

今年は2019年度～2021年度の中期経営計画の最終年度にあたりますが、計画策定当初、2022年3月期の目標を表の通り掲げておりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当社グループの市場環境では産業空調分野、自動車塗装分野を中心に各メーカーの設備投資が抑制傾向となっており、現時点において、目標の達成が困難な見通しです。

こうした状況下ではございますが、目標数値に近づけるよう引き続き努力を継続してまいる所存です。

長期ビジョン達成のための経営課題への取り組みに関しましても変更はなく、それらについても着実に実行してまいります。

1．2021年3月期 （2020年度） 決算説明

① 2021年3月期決算ハイライト

② 環境システム事業の業績

③ 塗装システム事業の業績

④ 主な受注工事・完成工事・繰越工事

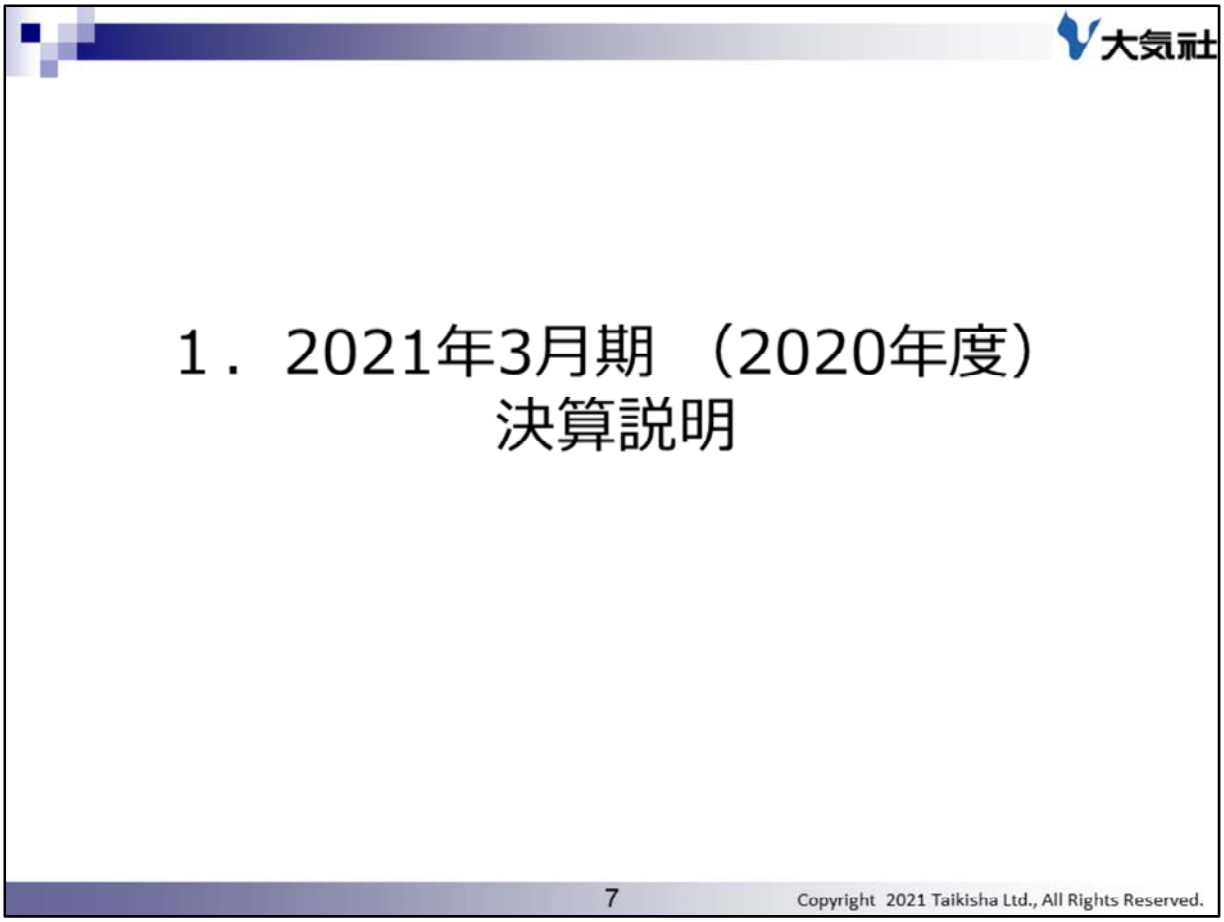
⑤ 2022年3月期業績予想

2．中期経営計画（2019年度～21年度）の各戦略における取り組み

3．株主還元

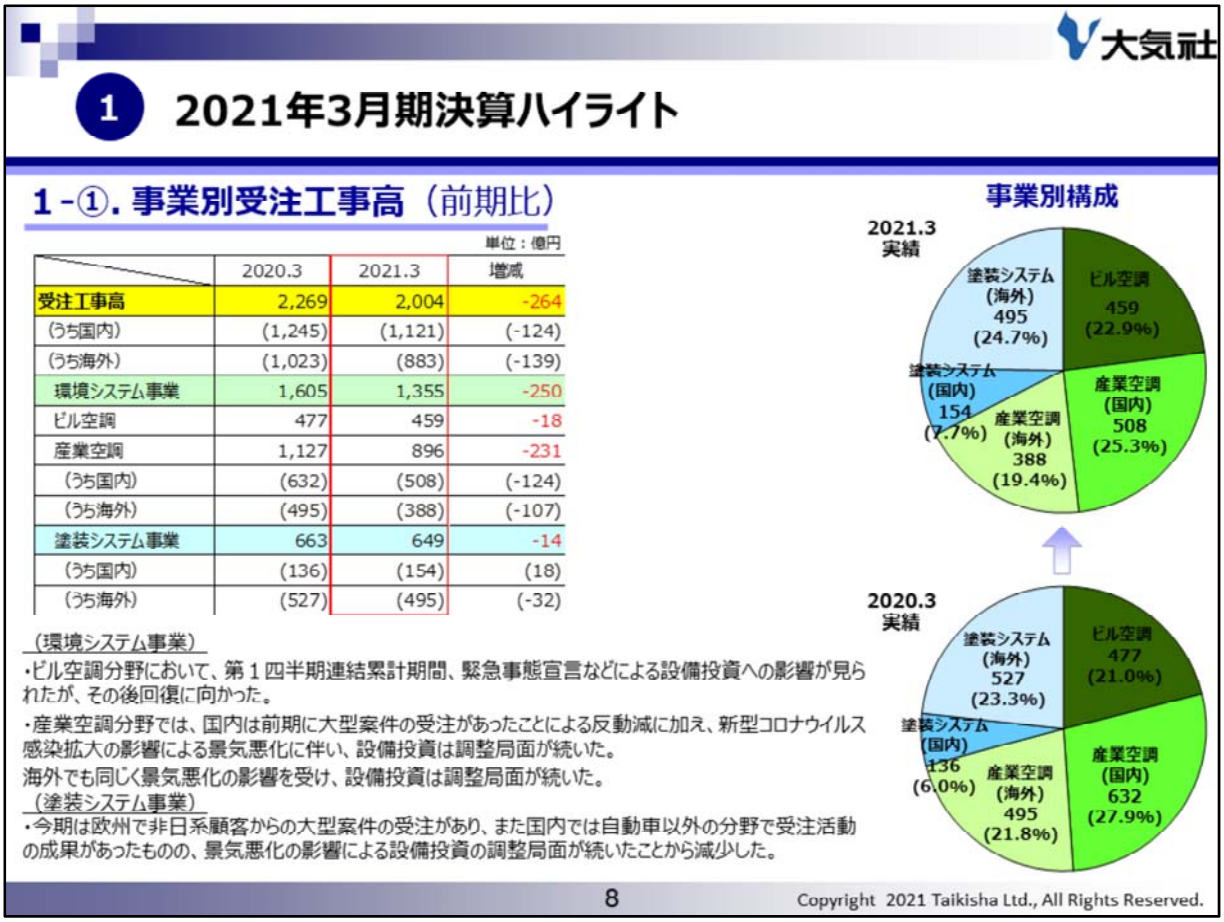
1. 業績数値等は原則、連結ベースです。個別ベースの場合のみ、各ページのタイトルに（個別）と記載しています。
2. 業績数値等は原則、外部顧客に対する取引金額となっており、セグメント別の営業利益・経常利益についてのみ、 内部取引高を含む数値となっております。業績予想数値は、発表日現在において、入手可能な情報に基づき推計した見込みです。
3. 経済動向、業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度の改正、その他多様なリスクや不確実性を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.



管理本部長の中島です。

当頁からは、2021年3月期の決算についてご説明いたします。



大気社

1 2021年3月期決算ハイライト

1-①. 事業別受注工事高（前期比）

単位：億円

	2020.3	2021.3	増減
受注工事高	2,269	2,004	-264
（うち国内）	(1,245)	(1,121)	(-124)
（うち海外）	(1,023)	(883)	(-139)
環境システム事業	1,605	1,355	-250
ビル空調	477	459	-18
産業空調	1,127	896	-231
（うち国内）	(632)	(508)	(-124)
（うち海外）	(495)	(388)	(-107)
塗装システム事業	663	649	-14
（うち国内）	(136)	(154)	(18)
（うち海外）	(527)	(495)	(-32)

（環境システム事業）

・ビル空調分野において、第１四半期連結累計期間、緊急事態宣言などによる設備投資への影響が見られたが、その後回復に向かった。

・産業空調分野では、国内は前期に大型案件の受注があったことによる反動減に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響による景気悪化に伴い、設備投資は調整局面が続いた。
海外でも同じく景気悪化の影響を受け、設備投資は調整局面が続いた。

（塗装システム事業）

・今期は欧州で非日系顧客からの大型案件の受注があり、また国内では自動車以外の分野で受注活動の成果があったものの、景気悪化の影響による設備投資の調整局面が続いたことから減少した。

事業別構成

8

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は事業別の受注工事高を前期比でまとめています。

全社では264億円減少し、2,004億円となりました。

そのうち、環境システム事業に関しては、ビル空調分野において、第１四半期連結累計期間、緊急事態宣言などによる設備投資への影響が見られましたが、その後、回復に向かいました。

産業空調分野では、国内は前期に大型案件の受注があったことによる反動減に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響による景気悪化に伴い、設備投資は調整局面が続きました。

海外でも同じく景気悪化の影響を受け、設備投資は調整局面が続きました。

一方、塗装システム事業に関しては、今期は欧州で非日系顧客からの大型案件の受注があり、また国内では自動車以外の分野で受注活動の成果があったものの、景気悪化の影響による設備投資の調整局面が続いたことから減少しました。

大気社

1 2021年3月期決算ハイライト

1-②. 事業別受注工事高（予想比）

単位：億円

	期初予想	2021.3 実績	差異
受注工事高	2,020	2,004	-15
（うち国内）	(1,035)	(1,121)	(86)
（うち海外）	(985)	(883)	(-101)
環境システム事業	1,300	1,355	55
ビル空調	355	459	104
産業空調	945	896	-48
（うち国内）	(558)	(508)	(-49)
（うち海外）	(387)	(388)	(1)
塗装システム事業	720	649	-70
（うち国内）	(122)	(154)	(32)
（うち海外）	(598)	(495)	(-102)

（環境システム事業）

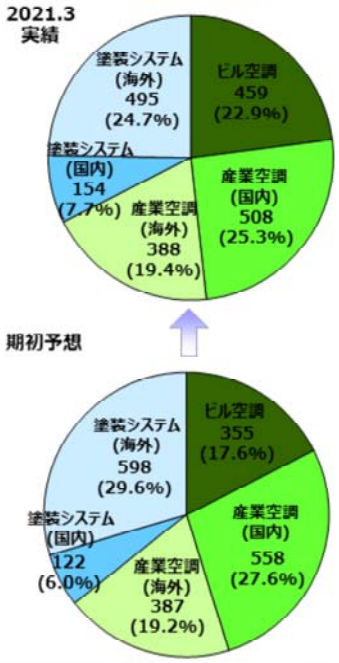
・ビル空調分野は、首都圏を中心とした大規模再開発やデータセンター需要を確実に取り込めたことなどにより、予想を上回った。

・産業空調の国内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による景気悪化に伴い、投資計画が先送りとなったことなどにより、予想を下回った。

（塗装システム事業）

・産業空調分野同様、景気悪化に伴い設備投資の調整局面が続いたことにより、予想を下回った。

事業別構成



9

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、同じく受注工事高について、期初予想比で示しております。

全社では、期初予想を15億円下回りました。

そのうち、環境システム事業は、ビル空調分野では首都圏を中心とした大規模再開発やデータセンター需要を確実に取り込めたことなどにより、予想を上回りました。

産業空調の国内は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による景気悪化に伴い、投資計画が先送りとなったことなどにより、予想を下回りました。

また、塗装システム事業は、産業空調分野同様、景気悪化に伴い設備投資の調整局面が続いたことにより、予想を下回りました。

大気社

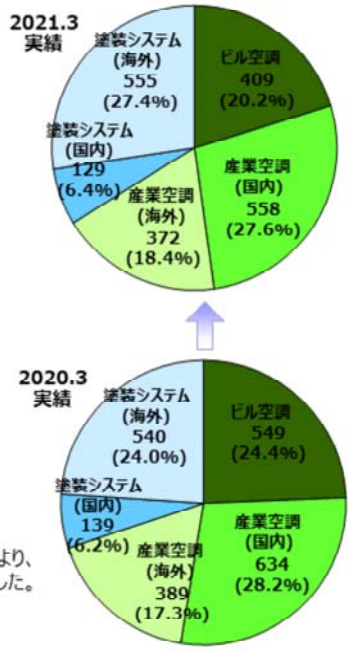
1 2021年3月期決算ハイライト

2-①. 事業別完成工事高（前期比）

単位：億円

	2020.3	2021.3	増減
完成工事高	2,253	2,025	(-228)
（うち国内）	(1,323)	(1,097)	(-225)
（うち海外）	(930)	(927)	(-2)
環境システム事業	1,573	1,340	-233
ビル空調	549	409	-140
産業空調	1,024	930	-93
（うち国内）	(634)	(558)	(-76)
（うち海外）	(389)	(372)	(-16)
塗装システム事業	680	684	4
（うち国内）	(139)	(129)	(-9)
（うち海外）	(540)	(555)	(14)

事業別構成



（環境システム事業）
・ビル空調分野は、前期は大型再開発案件の出来高があったため、反動減となった。
・産業空調の国内は、前期は複数の大型案件が寄与し、反動減となった。
・産業空調の海外は繰越工事高は前期期初より多かったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、海外の一部地域で大型物件の工期遅れが発生したことに加え、当期受注当期完工が伸び悩み、減少した。
（塗装システム事業）
・一部投資計画の延期などあったものの、海外の大型物件の進捗が順調に推移し、増加した。

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、事業別完成工事高を前期比で示しております。

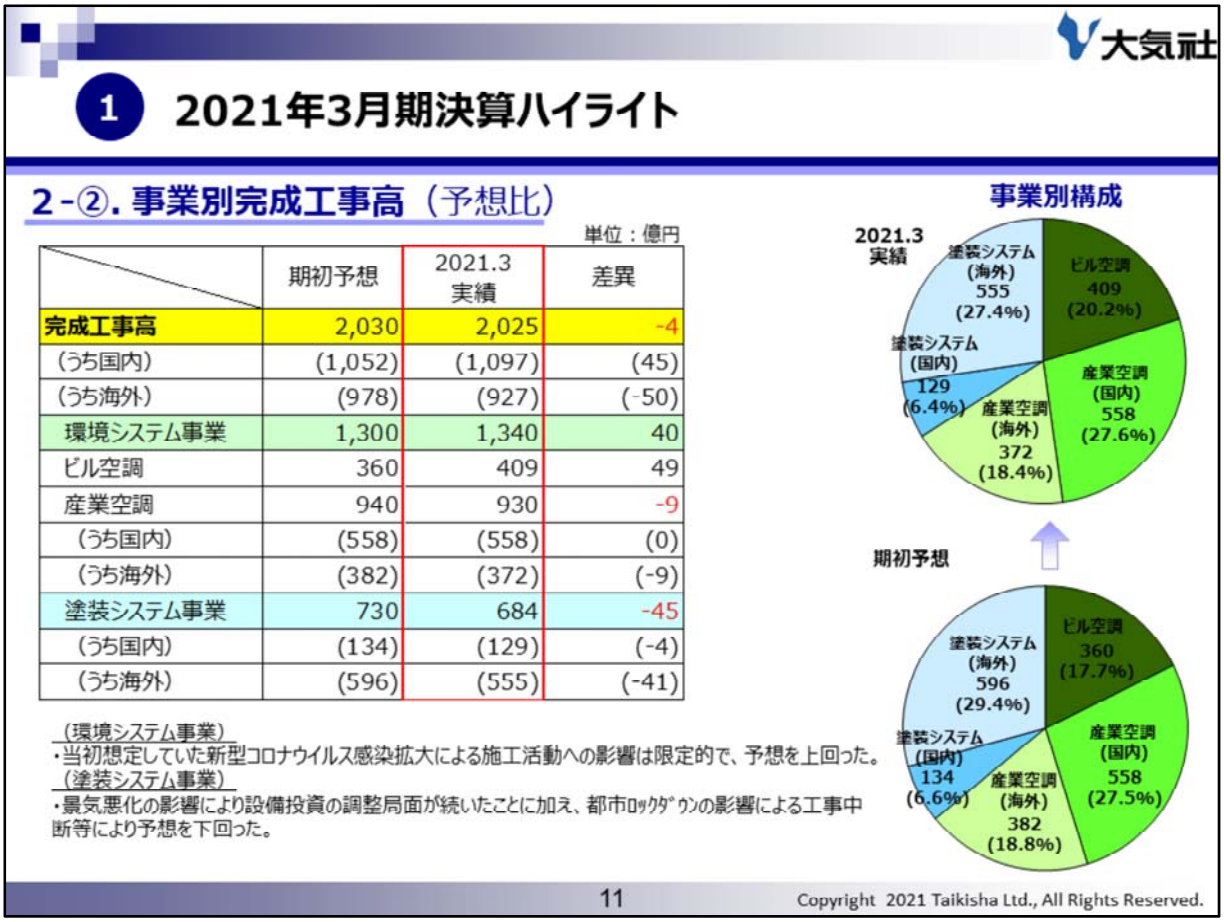
全社では228億円減少し、2,025億円となりました。

そのうち、環境システム事業のビル空調分野は、前期に大型再開発案件の出来高があったため、反動減となりました。

産業空調の国内は、前期は複数の大型案件が寄与し、反動減となりました。

産業空調の海外は、繰越工事高は前期期初より多かったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、海外の一部地域で大型物件の工期遅れが発生したことに加え、当期受注当期完工が伸び悩み、減少しました。

一方、塗装システム事業は一部投資計画の延期などがあったものの、海外の大型物件の進捗が順調に推移し、増加しました。



大気社

1 2021年3月期決算ハイライト

2-②. 事業別完成工事高（予想比）

単位：億円

	期初予想	2021.3 実績	差異
完成工事高	2,030	2,025	-4
（うち国内）	(1,052)	(1,097)	(45)
（うち海外）	(978)	(927)	(-50)
環境システム事業	1,300	1,340	40
ビル空調	360	409	49
産業空調	940	930	-9
（うち国内）	(558)	(558)	(0)
（うち海外）	(382)	(372)	(-9)
塗装システム事業	730	684	-45
（うち国内）	(134)	(129)	(-4)
（うち海外）	(596)	(555)	(-41)

（環境システム事業）
・当初想定していた新型コロナウイルス感染拡大による施工活動への影響は限定的で、予想を上回った。
（塗装システム事業）
・景気悪化の影響により設備投資の調整局面が続いたことに加え、都市ﾛｯｸﾀﾞｳﾝの影響による工事中断等により予想を下回った。

事業別構成

11

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、同じく完成工事高を予想比でまとめています。

全社では、期初予想を4億円下回りました。

そのうち、環境システム事業においては、当初想定していた新型コロナウイルス感染拡大による施工活動への影響は限定的で、8月発表の通期予想を上回りました。

一方、海外に軸足を置いた塗装システム事業は、景気悪化の影響により設備投資の調整局面が続いたことに加え、都市ﾛｯｸﾀﾞｳﾝの影響による工事中断等により、8月発表の通期予想を下回りました。

大気社

1 2021年3月期決算ハイライト

3-①. 事業別利益（前期比）

単位：億円

	2020.3	2021.3	増減
営業利益	154	116	-37
（同率）	6.9%	5.8%	-1.1%
環境システム事業	135	111	-24
（同率）	8.6%	8.3%	-0.3%
塗装システム事業	27	9	-18
（同率）	4.1%	1.4%	-2.7%
経常利益	159	122	-37
（同率）	7.1%	6.1%	-1.0%
環境システム事業	138	111	-27
（同率）	8.8%	8.3%	-0.5%
塗装システム事業	28	9	-19
（同率）	4.1%	1.3%	-2.8%

（環境システム事業）
・完成工事高が大幅に減少したことにより減益となった。
（塗装システム事業）
・競争激化に伴い、採算性の高い物件の比率が低下したことにより、減益となった。

12

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、事業別利益を前期比でまとめています。

経常利益は全社ベースでは37億円減少し122億円となりました。

そのうち、環境システム事業は、完成工事高が大幅に減少したことにより、減益となりました。

塗装システム事業は、競争激化に伴い、採算性の高い物件の比率が低下したことにより、減益となりました。

大気社

1 2021年3月期決算ハイライト

3-②. 事業別利益（予想比）

単位：億円

	期初予想	2021.3 実績	差異
営業利益	110	116	6
（同率）	5.4%	5.8%	0.4%
環境システム事業	106	111	5
（同率）	8.2%	8.3%	0.1%
塗装システム事業	12	9	-2
（同率）	1.6%	1.4%	-0.2%
経常利益	120	122	2
（同率）	5.9%	6.1%	0.2%
環境システム事業	108	111	3
（同率）	8.3%	8.3%	0.0%
塗装システム事業	13	9	-3
（同率）	1.8%	1.3%	-0.5%

（塗装システム事業）
・景気悪化の影響から市場回復が想定より遅れたことにより完成工事高が減少したため、予想を下回った。

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、同じく利益について予想比でまとめています。

経常利益については、全社では期初予想を2億円上回りました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により厳しい環境が続きましたが、原価低減活動や経費削減の成果もあり、予想を上回りました。

塗装システム事業においては、景気悪化の影響から市場回復が想定より遅れたことにより完成工事高が減少したため、予想を下回りました。

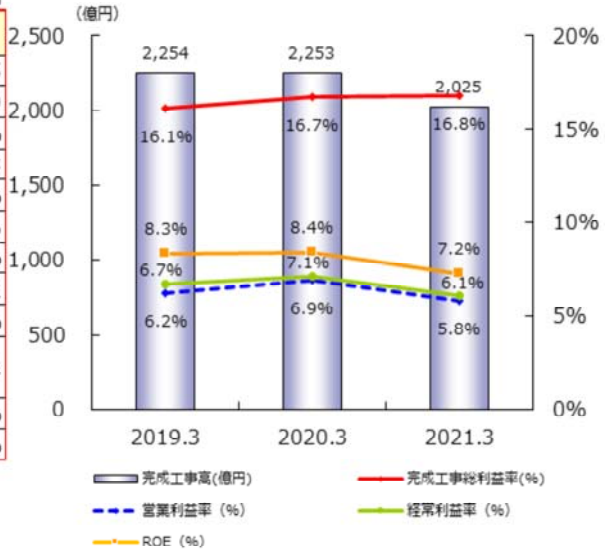
大気社

1 2021年3月期決算ハイライト

4．損益計算書

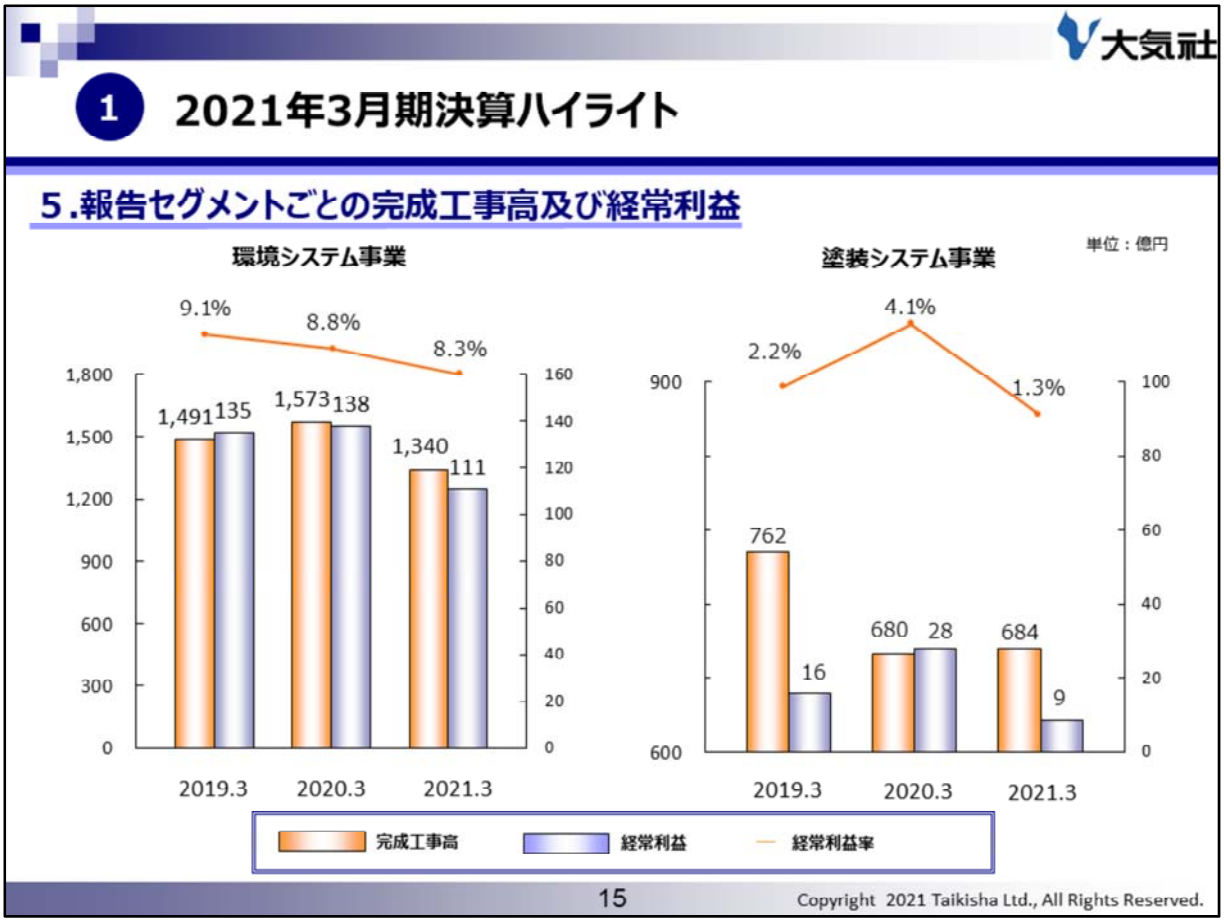
単位：億円

	2019.3	2020.3	2021.3
完成工事高	2,254	2,253	2,025
完成工事総利益	362	376	340
（同率）	16.1%	16.7%	16.8%
販管費	222	222	223
（同率）	9.9%	9.9%	11.0%
営業利益	140	154	116
（同率）	6.2%	6.9%	5.8%
経常利益	150	159	122
（同率）	6.7%	7.1%	6.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	88	91	82
（同率）	3.9%	4.1%	4.1%
ROE	8.3%	8.4%	7.2%

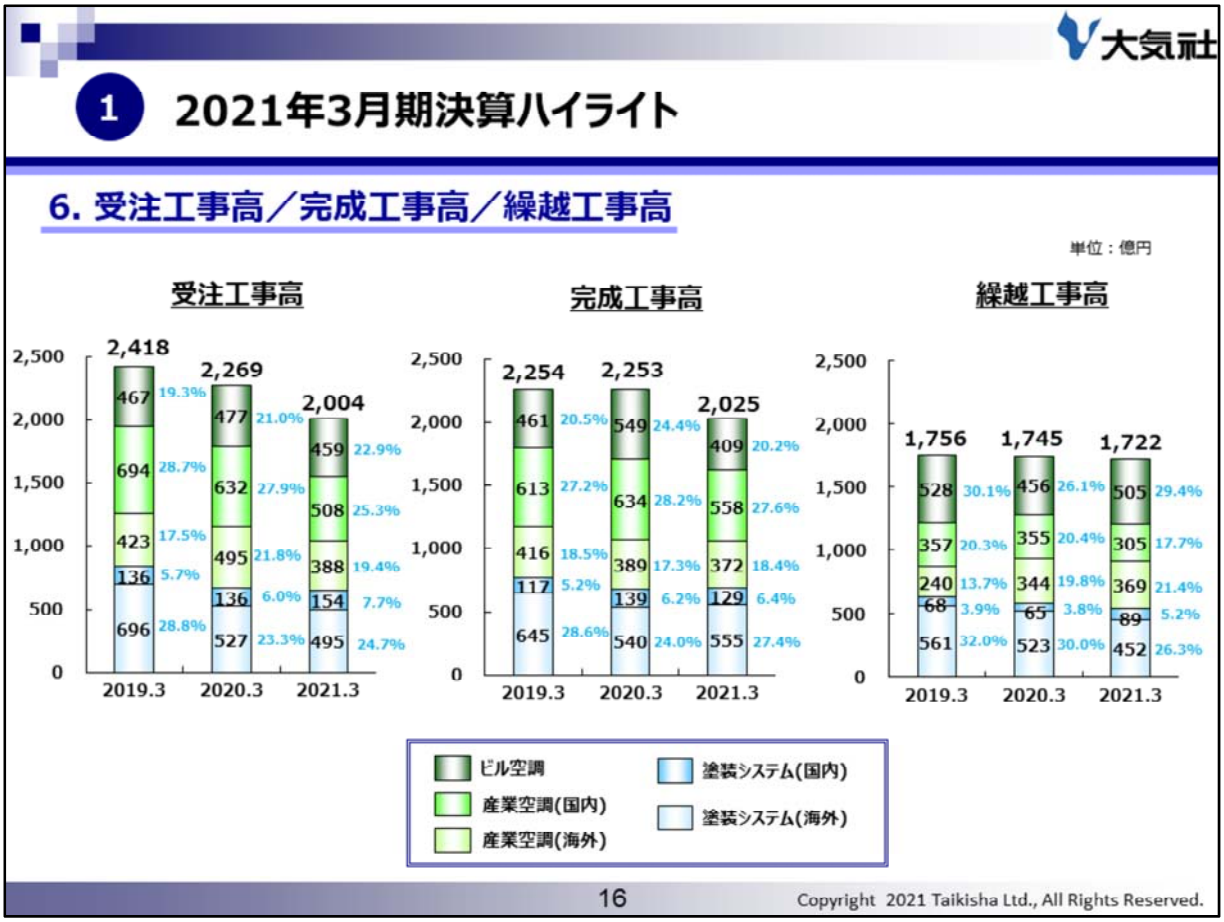


Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

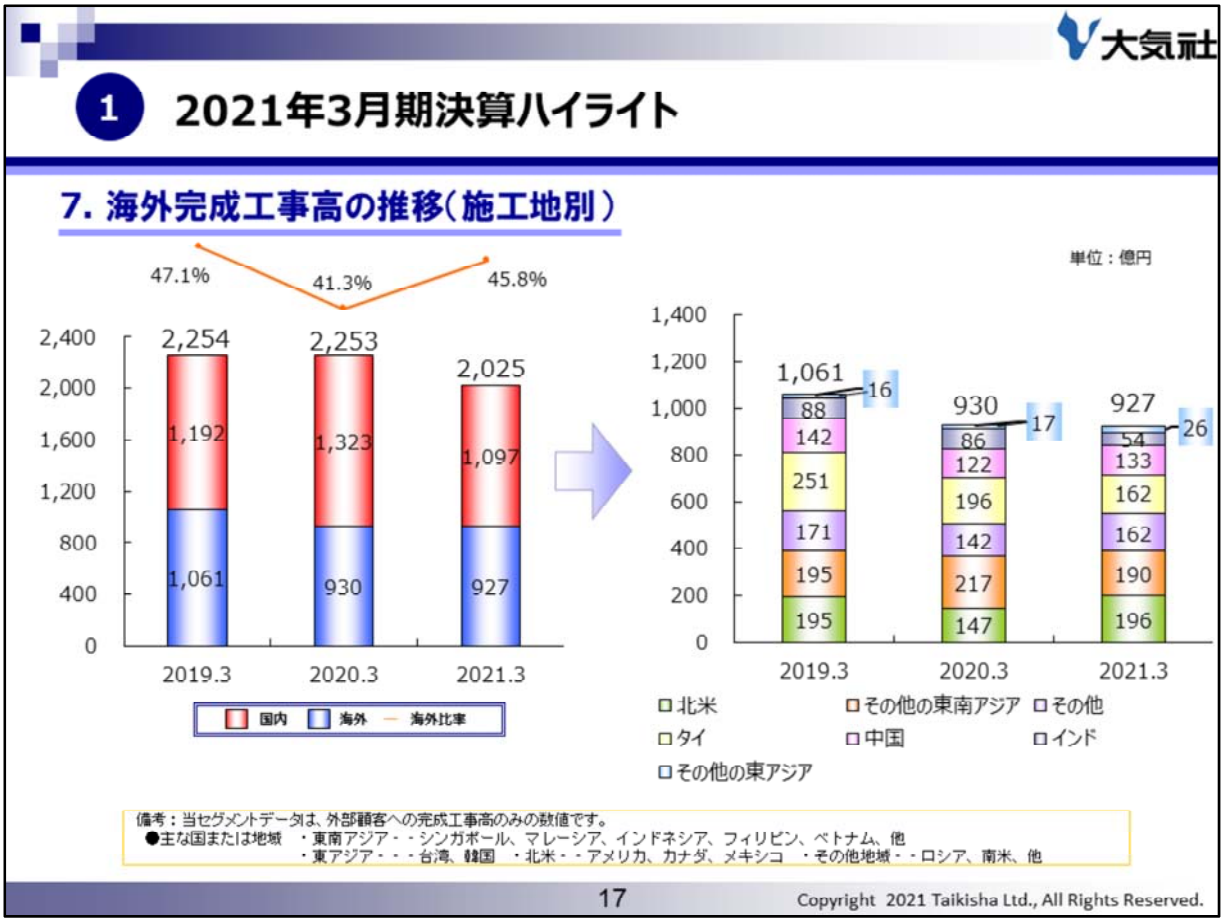
当頁は、３ヶ年の業績の推移を表しています。



当頁は、先ほどご説明しました事業ごとの完成工事高、経常利益額の推移をグラフで示しています。ご参照ください。



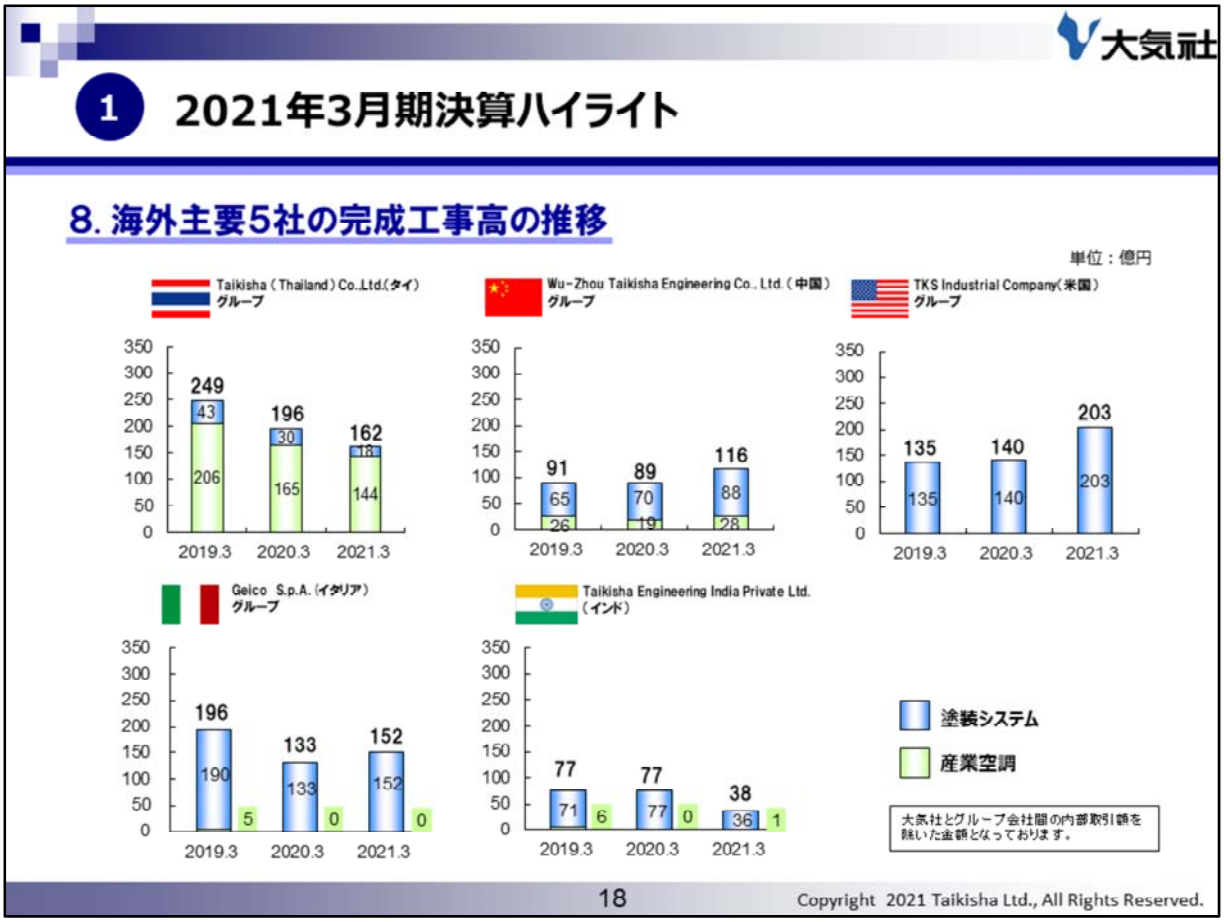
当頁は、受注工事高・完成工事高・繰越工事高の事業分野ごとの内訳と推移を示しております。



当頁は、海外の完成工事高の推移についてです。

左のグラフは国内海外の内訳と海外比率の推移を示しています。

今期の完成工事高は、国内の減少に伴い、オレンジ色の折れ線で示す海外比率は、前期の41.3%より4.5ポイント上昇し、45.8%となりました。



当頁は、海外主要５社の完成工事高の推移を示しております。

北米では大型物件の進捗が順調に推移し、完成工事高が増加しました。

大気社

1 2021年3月期決算ハイライト

9. 貸借対照表

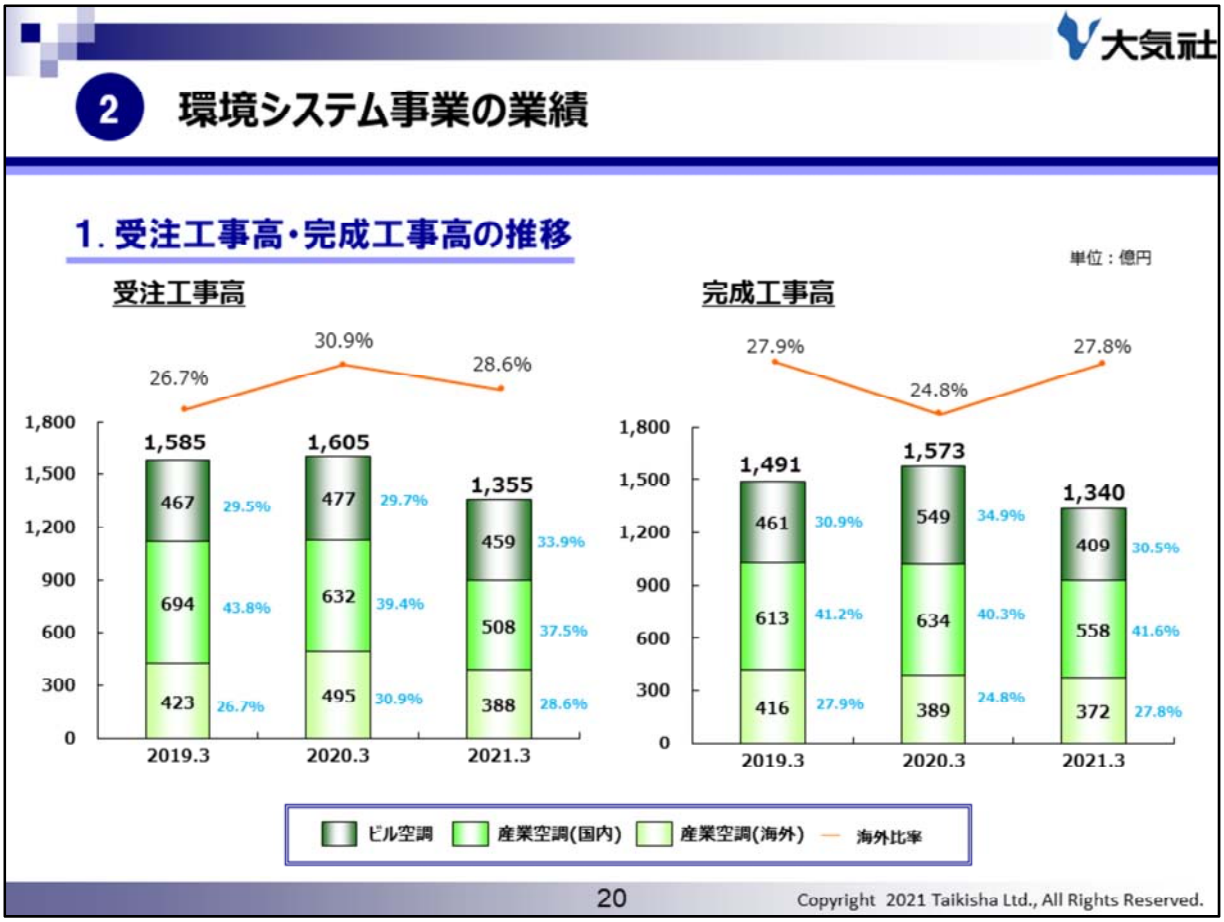
単位：億円

科目	2020.3	2021.3	増減
流動資産	1,689	1,653	-35
現金預金	576	520	-55
受取手形・完成工事未収入金	967	1,014	46
有価証券	35	20	-15
未成工事支出金及び材料貯蔵品	34	24	-9
その他	79	80	0
貸倒引当金	-3	-6	-3
固定資産	464	634	170
有形固定資産	104	101	-3
のれん	7	40	33
その他無形固定資産	28	43	15
投資有価証券	243	326	82
繰延税金資産	6	10	3
その他	73	112	38
貸倒引当金	-0	-0	0
資産合計	2,153	2,288	134

科目	2020.3	2021.3	増減
流動負債	939	869	-70
支払手形・工事未払金等	576	520	-55
未成工事受入金	143	142	-1
工事損失引当金	2	4	1
その他	216	202	-14
固定負債	86	156	70
負債合計	1,025	1,025	-0
純資産	1,128	1,263	134
資本金	64	64	0
資本剰余金	50	50	0
利益剰余金	908	957	48
自己株式	-25	-25	-0
その他有価証券評価差額金	83	142	58
繰延ヘッジ損益	-0	-0	-0
為替換算調整勘定	3	-2	-6
退職給付に係る調整累計額	-3	24	27
非支配株主持分	46	52	6
負債純資産合計	2,153	2,288	134

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、連結の貸借対照表となります。ご参照ください。

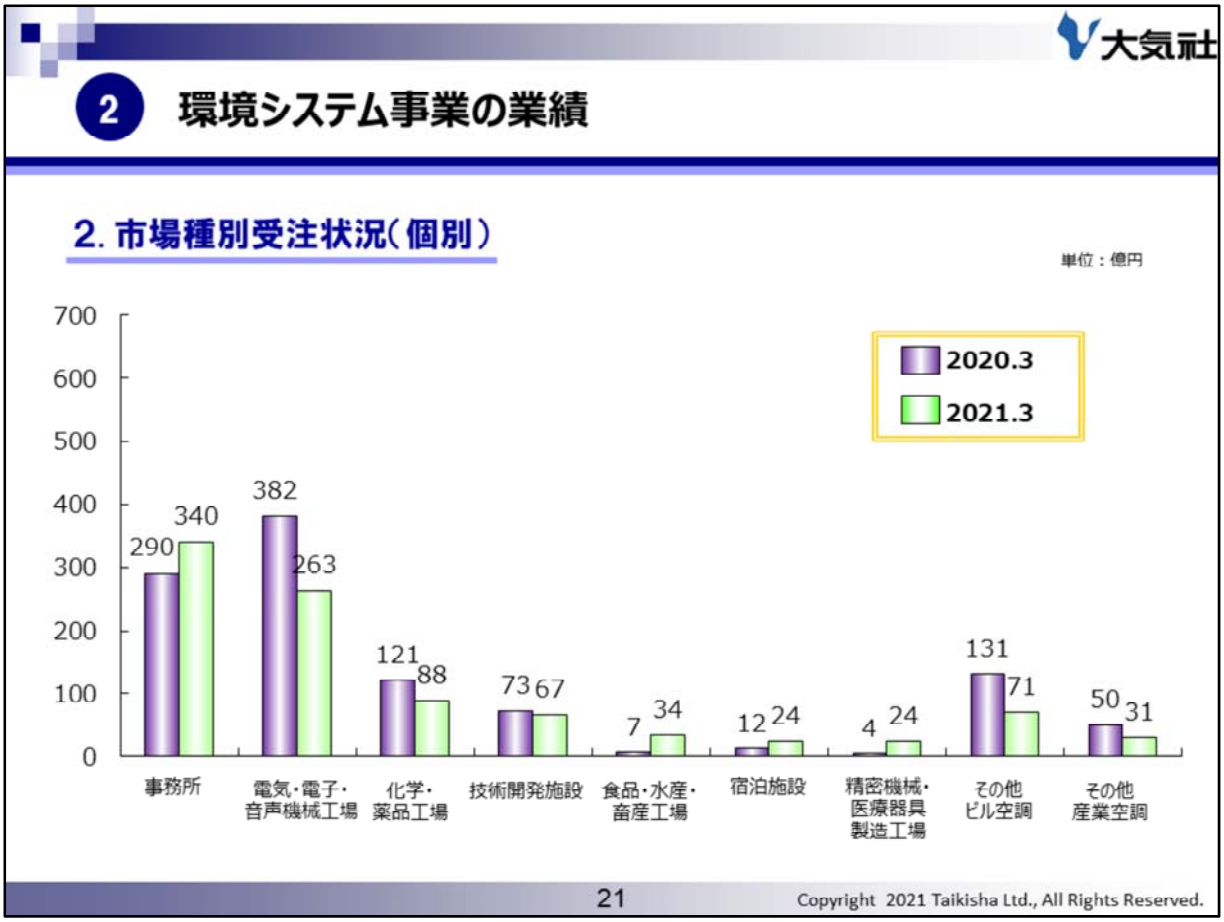


当頁からは、環境システム事業の業績についてご説明いたします。

左のグラフは受注工事高、右のグラフは完成工事高について事業分野別に推移を示しております。

受注工事高は、国内・海外ともに減少しましたが、海外の減少幅がより大きく、海外比率は低下しました。

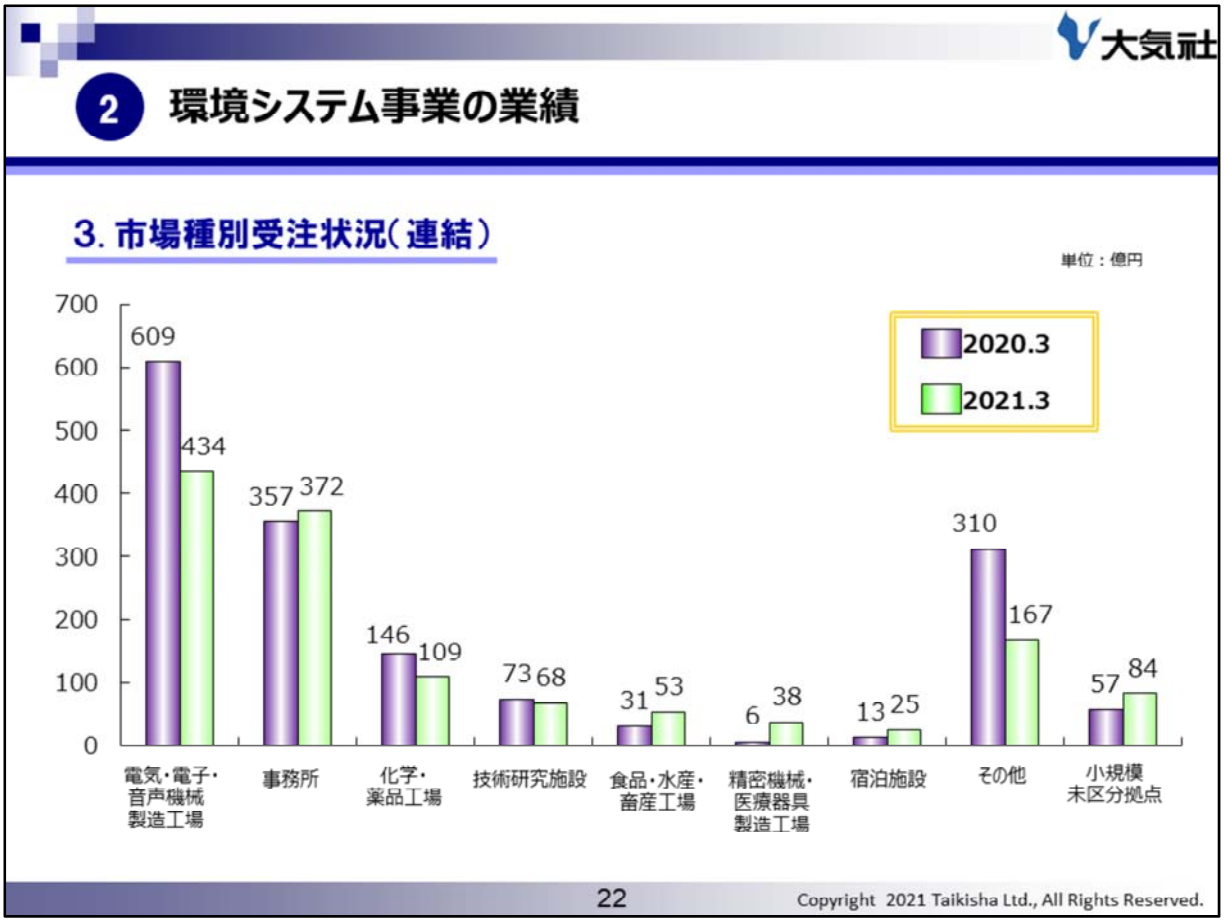
完成工事高は、国内・海外ともに減少しましたが、国内の減少幅がより大きく、海外比率は上昇しました。



当頁は、「個別」の市場種別受注状況となります。

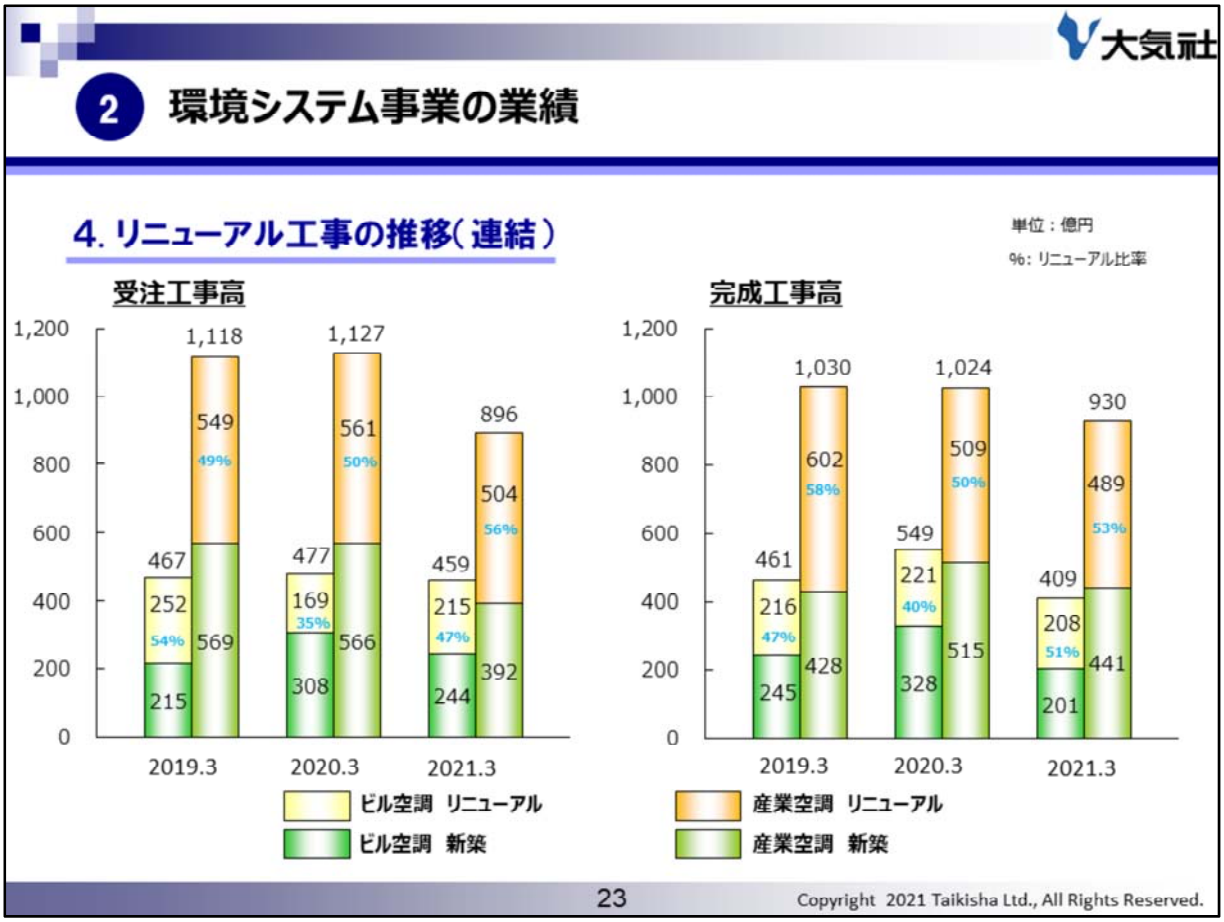
電気・電子分野の受注は、前期に大型案件の受注があったことによる反動減に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、大幅減少となりました。

一方、事務所については、首都圏を中心した大規模再開発やリニューアル需要を確実に取り込めたことなどにより増加しました。



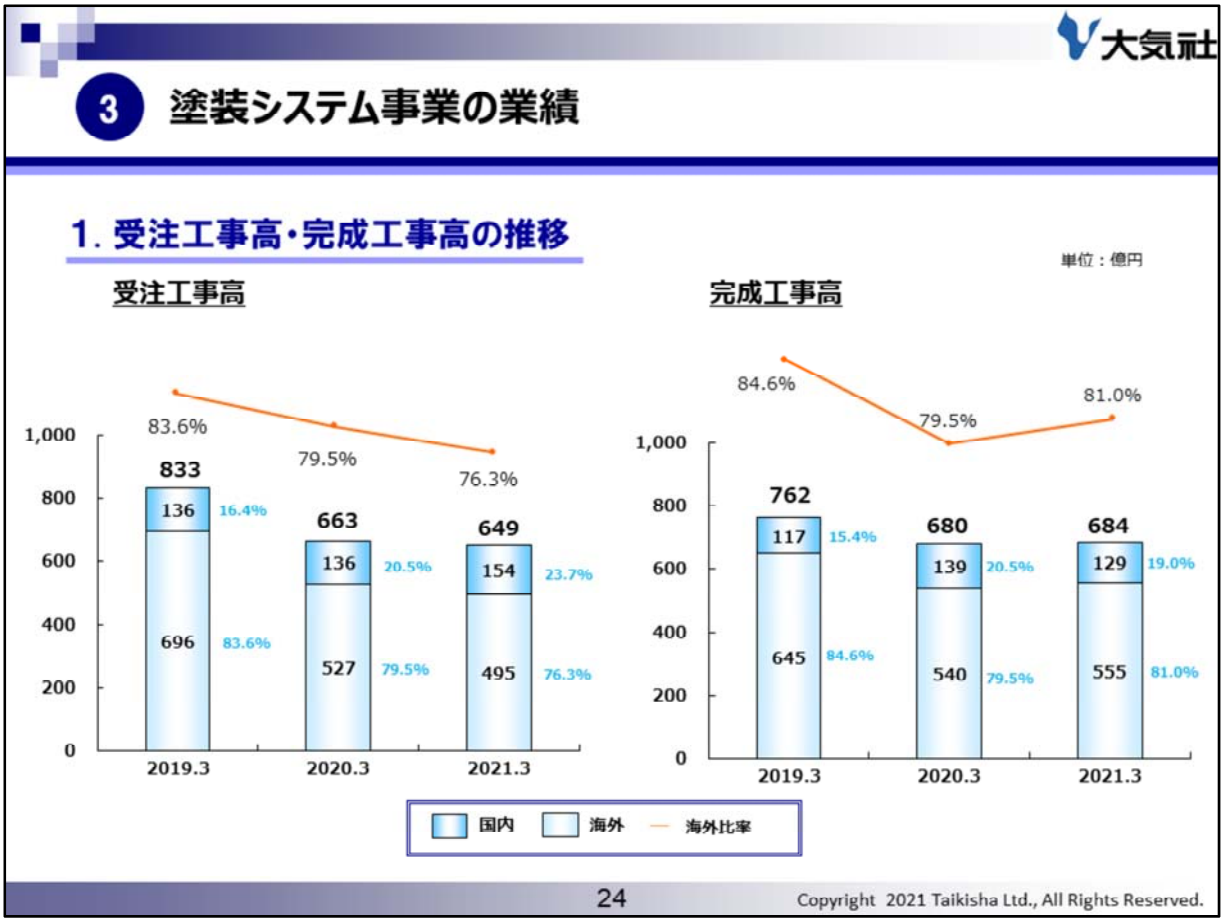
当頁は、環境システム事業の「連結」の市場種別受注状況となります。

海外における電気・電子分野の受注は、前期に日系電子メーカーの大型受注があったことによる反動減に加え、国内同様、景気悪化により設備投資は調整局面が続いたため減少しました。



当頁は、リニューアル工事の推移です。

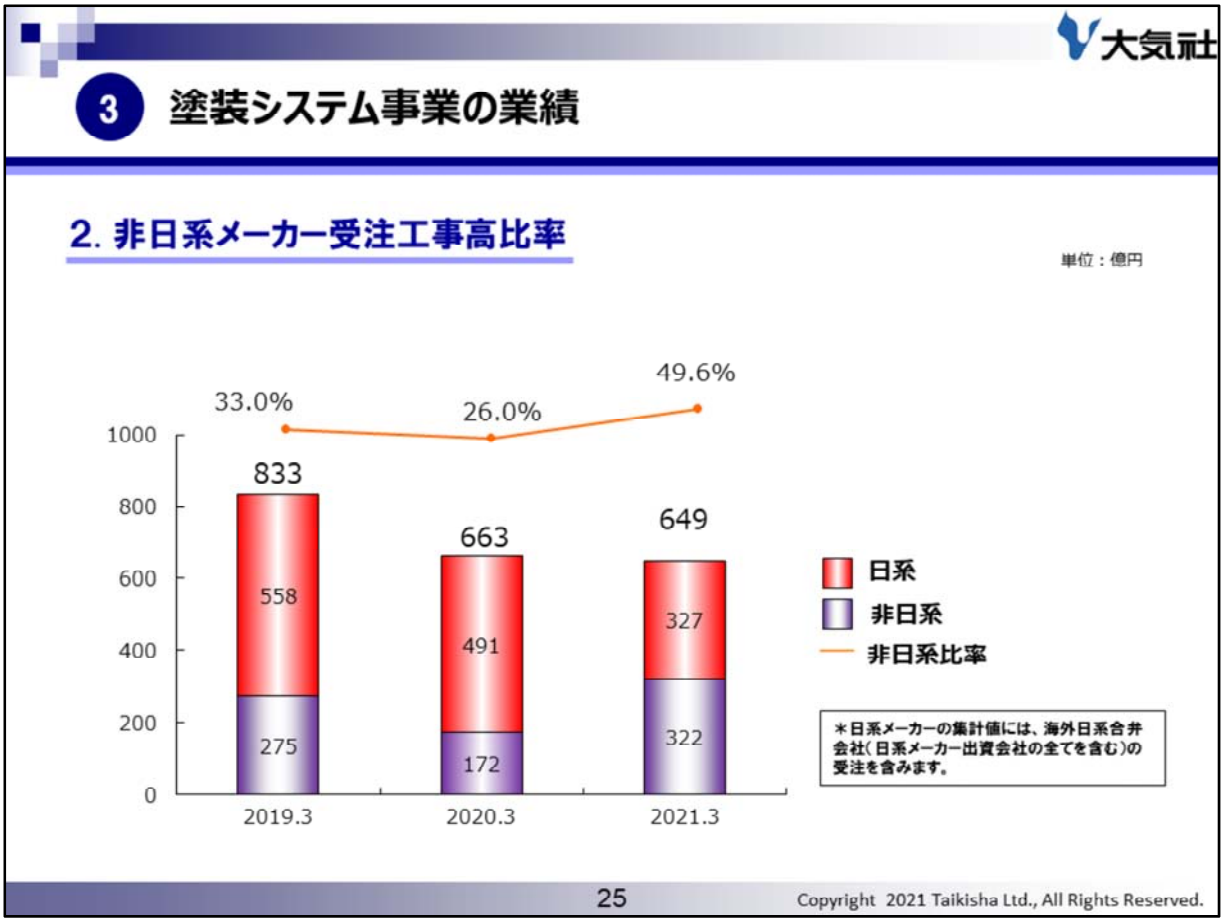
ビル空調分野におけるリニューアル工事の受注工事高は、今期は大型リニューアル案件の受注により増加しました。



当頁からは、塗装システム事業についての説明となります。

受注工事高の海外比率は減少傾向となりました。

完成工事高については、前期比で国内は減少、海外は増加となり、海外比率は上昇しました。



当頁は、非日系自動車メーカーからの受注工事高比率についてです。

今期は欧州において非日系顧客からの大型案件の受注があったことにより、非日系比率は大幅に増加しました。

4 主な受注工事・完成工事・繰越工事

1．10億円以上の受注工事 全31件（934億円）

10億円以上の件数（工事・市場種別）				
受注工事高 合計31件 (934億円)	国内 358億円	17件	事務所	8件
			宿泊施設	1件
			電気・電子	2件
			技術研究施設	2件
			食品	1件
			化学・薬品	1件
			自動車部品	1件
			その他	1件
	海外 576億円	14件	事務所	2件
			その他工場	1件
			自動車	8件
			トラック	1件
			二輪車	1件
			鉄道	1件

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁からは、計上金額が10億円以上となった、受注・売上・繰越案件についてまとめております。

大気社

4 主な受注工事・完成工事・繰越工事

2．10億円以上の完成工事 全31件（713億円）

10億円以上の件数（工事・市場種別）				
完成工事高 合計31件 (713億円)	国内 247億円	14件	事務所	4件
			宿泊施設	1件
			電気・電子	6件
			化学・薬品	2件
			自動車	1件
	海外 466億円	17件	事務所	1件
			商業施設	1件
			電気・電子	1件
			化学・薬品	1件
			自動車	12件
			トラック	1件

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

4 主な受注工事・完成工事・繰越工事

3．10億円以上の繰越工事 全39件（965億円）

10億円以上の件数（工事・市場種別）				繰越工事	内 2021年度完成予定
繰越工事高 合計39件 （965億円）	国内 488億円	23件	事務所	13件	3件
			医療・福祉施設	1件	-
			行政施設	1件	-
			技術研究施設	3件	-
			化学・薬品	2件	2件
			食品	1件	-
			自動車部品	1件	1件
			その他	1件	-
	海外 476億円	16件	事務所	2件	-
			鉄道施設・空港	2件	-
			電気・電子	2件	-
			その他工場	1件	-
			自動車	7件	4件
			トラック	1件	-
			鉄道	1件	-

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

5 2022年3月期業績予想

事業部別予想値

単位：億円

	2020.3			2021.3			2022.3								
	環境システム	塗装システム	全社	環境システム	塗装システム	全社	環境システム			塗装システム			全社		
							上期(E)	下期(E)	通期(E)	上期(E)	下期(E)	通期(E)	上期(E)	下期(E)	通期(E)
受注工事高	1,605	663	2,269	1,355	649	2,004	600	1,110	1,710	340	390	730	940	1,500	2,440
完成工事高	1,573	680	2,253	1,340	684	2,025	600	820	1,420	320	440	760	920	1,260	2,180
営業利益	135	27	154	111	9	116	24	82	106	1	26	27	23	104	127
（同率）	8.6%	4.1%	6.9%	8.3%	1.4%	5.8%	4.0%	10.0%	7.5%	0.3%	5.9%	3.6%	2.5%	8.3%	5.8%
経常利益	138	28	159	111	9	122	25	83	108	1	26	27	27	108	135
（同率）	8.8%	4.1%	7.1%	8.3%	1.3%	6.1%	4.2%	10.1%	7.6%	0.3%	5.9%	3.6%	2.9%	8.6%	6.2%
純利益	-	-	91	-	-	82	-	-	-	-	-	-	17	67	84
（同率）	-	-	4.1%	-	-	4.1%	-	-	-	-	-	-	1.8%	5.3%	3.9%

① 2020年3月期決算為替レート：1USドル=109.37円、1ユーロ=122.51円、1タイバーツ=3.52円
② 2021年3月期決算為替レート：1USドル=106.68円、1ユーロ=122.01円、1タイバーツ=3.42円
③ 2022年3月期想定為替レート：1USドル=103円、1ユーロ=121円、1タイバーツ=3.30円

①と②の為替差による影響 完成工事高：△21.6億円、経常利益：△0.5億円

※2022年3月期業績予想において、全為替レートが1%変動した場合の影響額
⇒受注・完工：約12億円、経常利益：約0.5億円

29

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

これより2022年3月期の通期業績予想についてご説明いたします。

当頁は事業部別の予想値となります。

想定為替レートにつきましては、スライド下部に記載しております。

また、為替差による影響についても記載しておりますので、合わせてご確認ください。

大気社

5 2022年3月期業績予想

受注工事高

単位：億円

	2021.3 実績 A			2022.3 予想 B			差異 B-A		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
受注工事高	945	1,059	2,004	940	1,500	2,440	-5	440	435
(うち国内)	(449)	(672)	(1,121)	(504)	(814)	(1,318)	(54)	(142)	(196)
(うち海外)	(495)	(387)	(883)	(436)	(686)	(1,122)	(-59)	(298)	(238)
環境システム事業	594	760	1,355	600	1,110	1,710	5	349	354
ビル空調	161	297	459	210	234	444	48	-63	-15
産業空調	433	462	896	390	876	1,266	-43	413	369
(うち国内)	(238)	(269)	(508)	(239)	(501)	(740)	(0)	(231)	(231)
(うち海外)	(194)	(193)	(388)	(151)	(375)	(526)	(-43)	(181)	(138)
塗装システム事業	350	299	649	340	390	730	-10	90	80
(うち国内)	(49)	(104)	(154)	(55)	(79)	(134)	(5)	(-25)	(-20)
(うち海外)	(300)	(194)	(495)	(285)	(311)	(596)	(-15)	(116)	(100)

(環境システム事業部)

- ビル空調分野の建設需要は、大型再開発やリニューアルに加え、データセンター需要など中長期的には底堅く推移すると予想している。
- 産業空調分野では、海外においては、5Gの普及やCASEの本格化に合わせ、投資が継続する見通し。また、国内において医薬品メーカーなどによる新規設備投資が見込まれている。

(塗装システム事業部)

- 国内においては、設備投資の調整局面が継続する見込みであるものの、北米・欧州などでは更新投資、中国では増産投資が見込まれており、設備投資の回復が期待される。

30

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、受注工事高の事業分野ごとの内訳につきましてお示ししております。

2022年3月期の受注工事高は全社では435億円増加し、2,440億円となる見込みです。

このうち、前期に新型コロナウイルス感染拡大の影響により計画延期となっていた設備投資が複数含まれております。

市場環境の見通しについてご説明いたしますと、ビル空調分野の建設需要は、大型再開発やリニューアルに加え、データセンター需要など中長期的には底堅く推移すると予想しています。

産業空調分野では、 海外においては、5Gの普及やCASEの本格化に合わせ、投資は回復に向かう見通しです。また、国内において医薬品メーカーなどによる新規設備投資が見込まれています。

塗装システム事業では、国内においては、設備投資の調整局面が継続する見込みであるものの、北米・欧州などでは更新投資、中国では増産投資が見込まれており、設備投資の回復が期待されます。

大気社

5 2022年3月期業績予想

完成工事高

単位：億円

	2021.3 実績 A			2022.3 予想 B			差異 B-A		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
完成工事高	815	1,209	2,025	920	1,260	2,180	104	50	154
（うち国内）	(474)	(623)	(1,097)	(450)	(613)	(1,063)	(-24)	(-10)	(-34)
（うち海外）	(341)	(586)	(927)	(470)	(647)	(1,117)	(128)	(60)	(189)
環境システム事業	573	767	1,340	600	820	1,420	26	52	79
ビル空調	175	234	409	180	193	373	4	-41	-36
産業空調	397	533	930	420	627	1,047	22	94	116
（うち国内）	(258)	(299)	(558)	(214)	(347)	(561)	(-44)	(47)	(2)
（うち海外）	(139)	(233)	(372)	(206)	(280)	(486)	(66)	(46)	(113)
塗装システム事業	242	442	684	320	440	760	77	-2	75
（うち国内）	(40)	(89)	(129)	(56)	(73)	(129)	(15)	(-16)	(-0)
（うち海外）	(201)	(353)	(555)	(264)	(367)	(631)	(62)	(13)	(76)

・ビル空調分野は、完成工事高に寄与する大型物件が少なく、一時的に下振れる見通し。

・国内の産業空調は、繰越物件が少ないものの、当期受注当期完工となる物件確保を見越し、横ばいとなる見通し。

・海外は産業空調、塗装事業ともに、前期に新型コロナウイルス感染拡大の影響により計画延期となっていた物件の出来高確保を見込んでいる。

31

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、完成工事高の事業分野ごとの内訳につきましてお示ししております。

2022年3月期の完成工事高は全社では154億円増加し、2,180億円となる見込みです。

ビル空調は、完成工事高に寄与する大型物件が少なく、一時的に下振れる見通しです。

国内の産業空調は、繰越物件が少ないものの、当期受注当期完工となる物件確保を見越し、横ばいとなる見通しです。

海外は産業空調、塗装事業ともに、前期計画延期となっていた物件の出来高確保を見込んでいます。

大気社

5 2022年3月期業績予想

利益

単位：億円

	2021.3 実績 A			2022.3 予想 B			差異 B-A		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	37	85	122	27	108	135	-10	22	12
（同率）	4.5%	7.1%	6.1%	2.9%	8.6%	6.2%	-1.6%	1.5%	0.1%
環境システム事業	44	67	111	25	83	108	-19	15	-3
（同率）	7.8%	8.8%	8.3%	4.2%	10.1%	7.6%	-3.6%	1.3%	-0.7%
塗装システム事業	-10	19	9	1	26	27	11	6	17
（同率）	-4.4%	4.4%	1.3%	0.3%	5.9%	3.6%	4.7%	1.5%	2.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	30	52	82	17	67	84	-13	14	1
（同率）	3.8%	4.3%	4.1%	1.8%	5.3%	3.9%	-1.9%	1.0%	-0.2%

【経常利益】

（環境システム事業部）

採算性が低い期初繰越物件の影響により、減益となる見通し。

（塗装システム事業部）

前期に出件が遅れた案件の取込みや、工事進捗の遅れにより出来高遅延のあった繰越案件での完成工事高増加に伴う利益増を見込む。

32

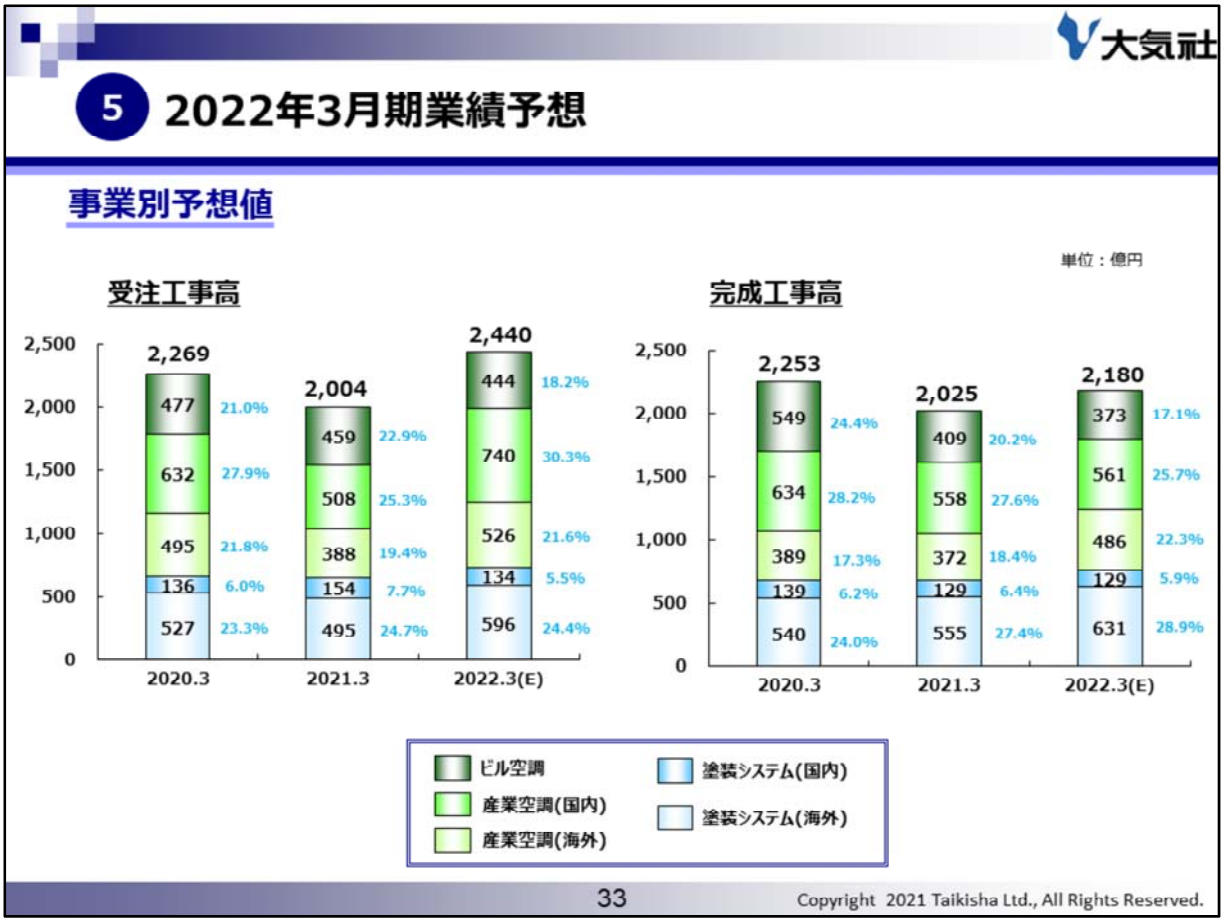
Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁は、経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益につきましてお示ししております。

経常利益は全社では12億円増加し、135億円となる見込みです。

環境システム事業は、採算性が低い期初繰越物件の影響により、減益となる見通しです。

塗装システム事業では、前期に出件が遅れた案件の取込みや、工事進捗の遅れにより出来高遅延のあった繰越案件での完成工事高増加に伴う利益増を見込んでおります。



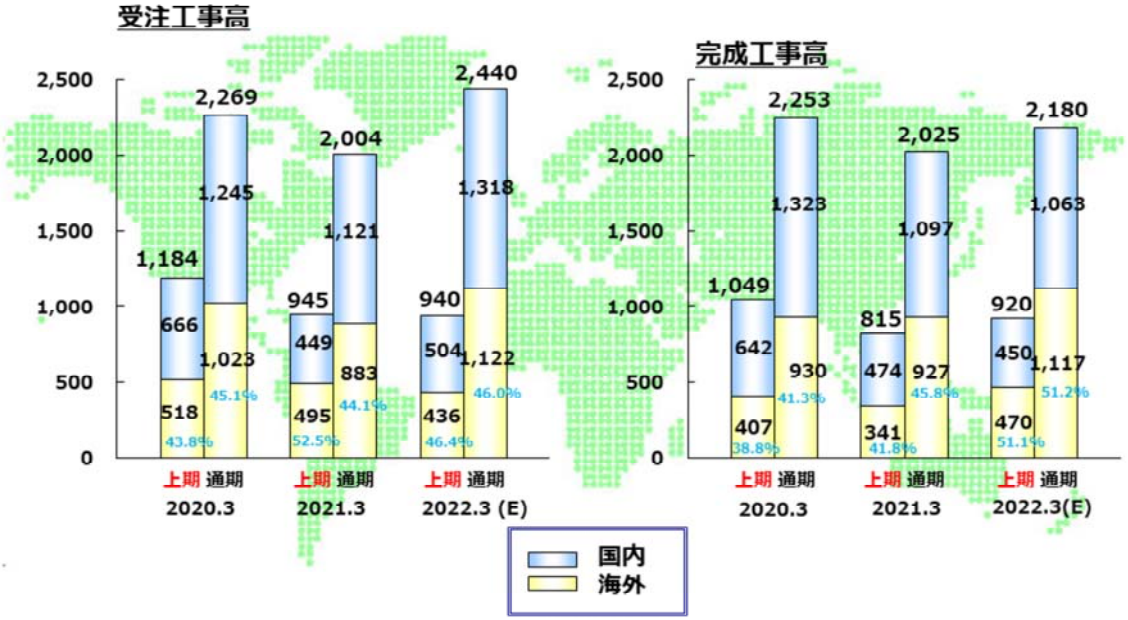
33ページから36ページは全社および各事業における受注工事高、完成工事高の業績予想をお示ししておりますのでご参照ください。

大気社

5 2022年3月期業績予想

全社（国内／海外別）

（単位:億円）
（%: 海外比率）

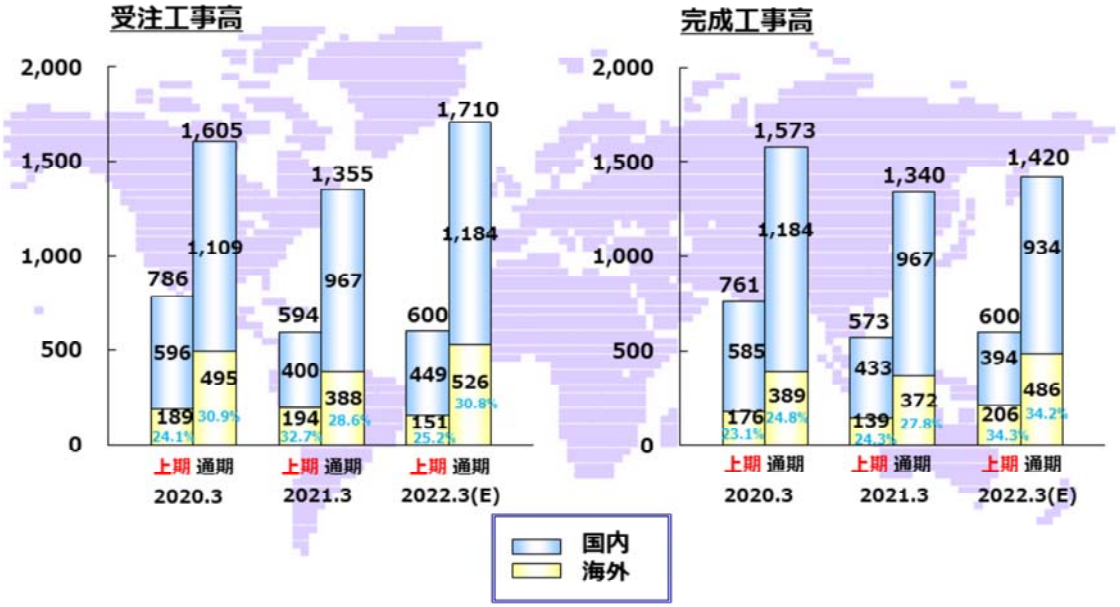


Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

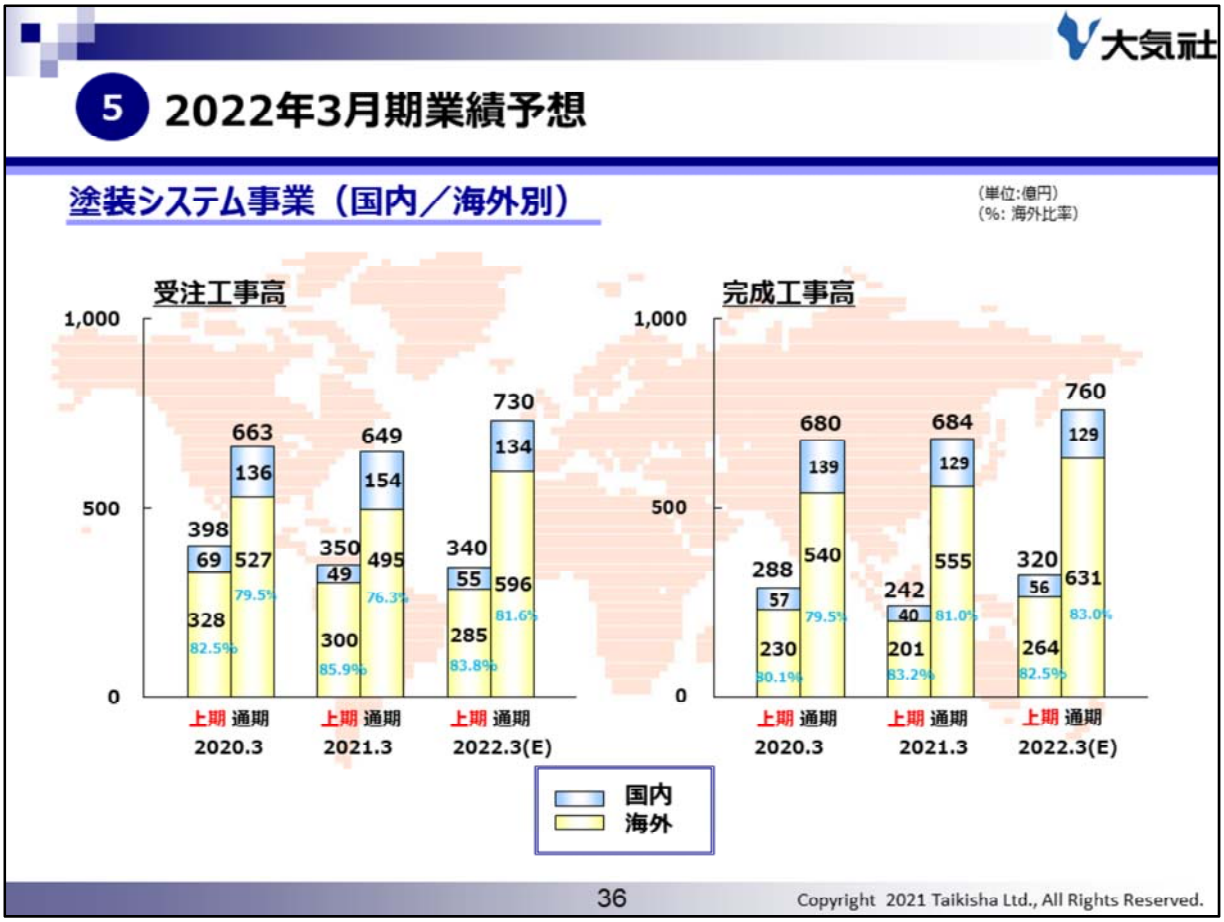
5 2022年3月期業績予想

環境システム事業（国内／海外別）

（単位:億円）
（%: 海外比率）

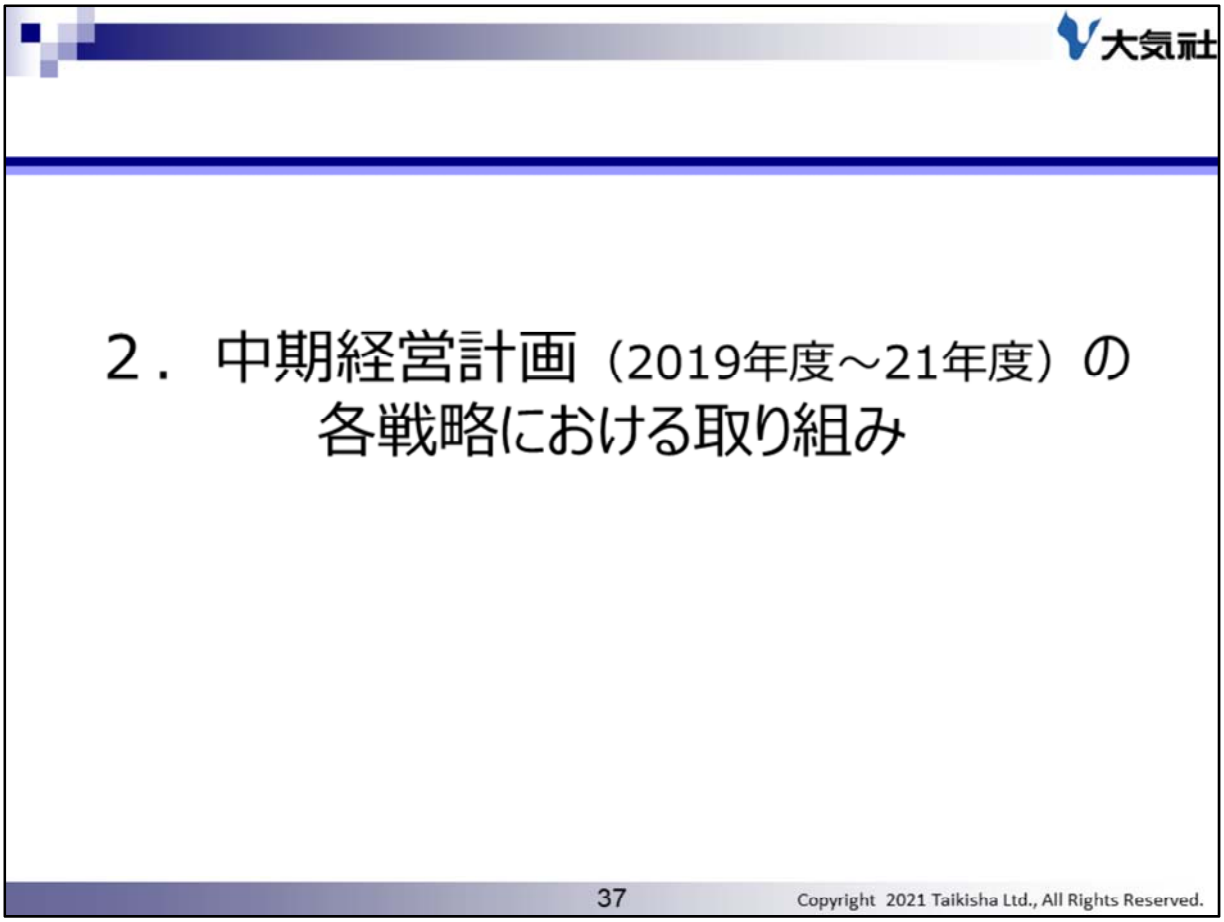


Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.



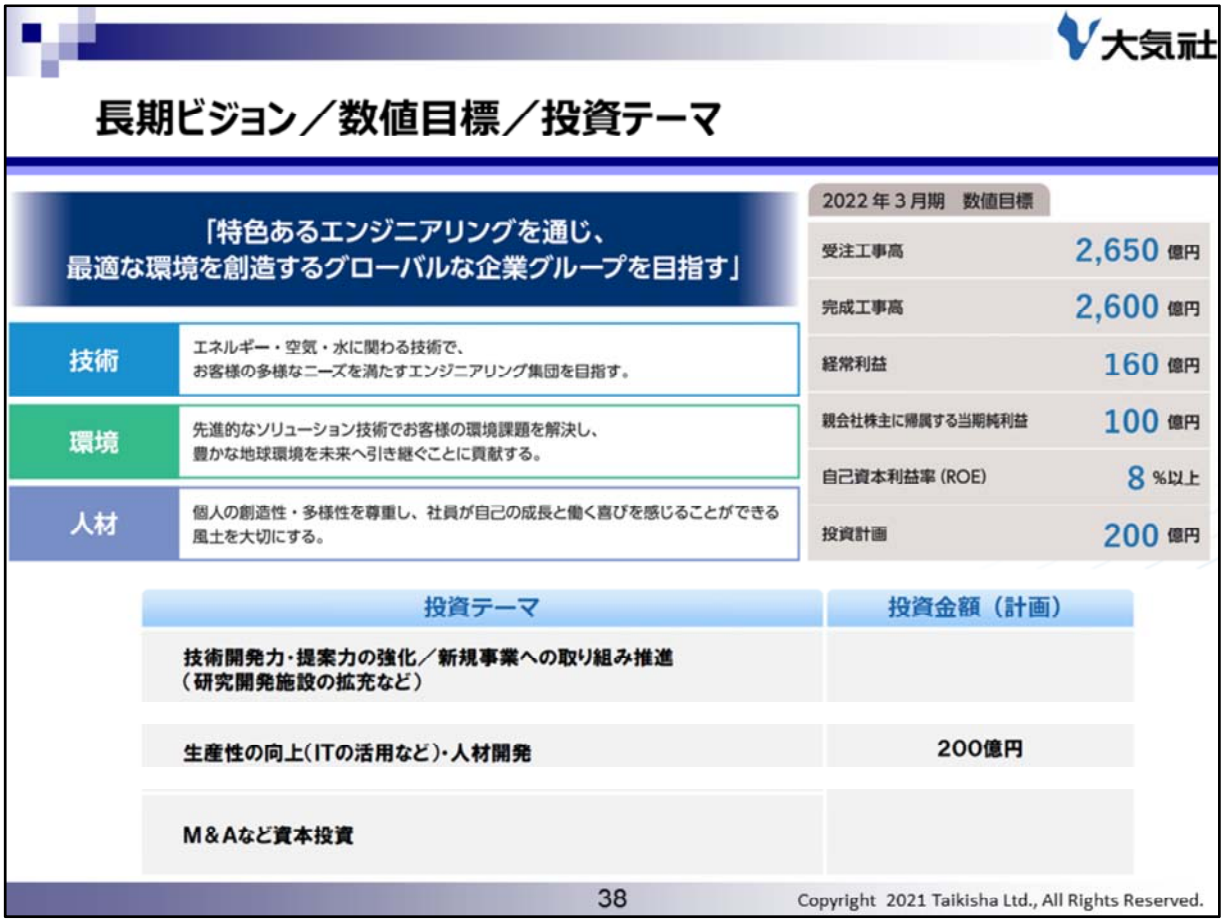
私からのご説明は以上となります。

ご清聴いただき、ありがとうございました。

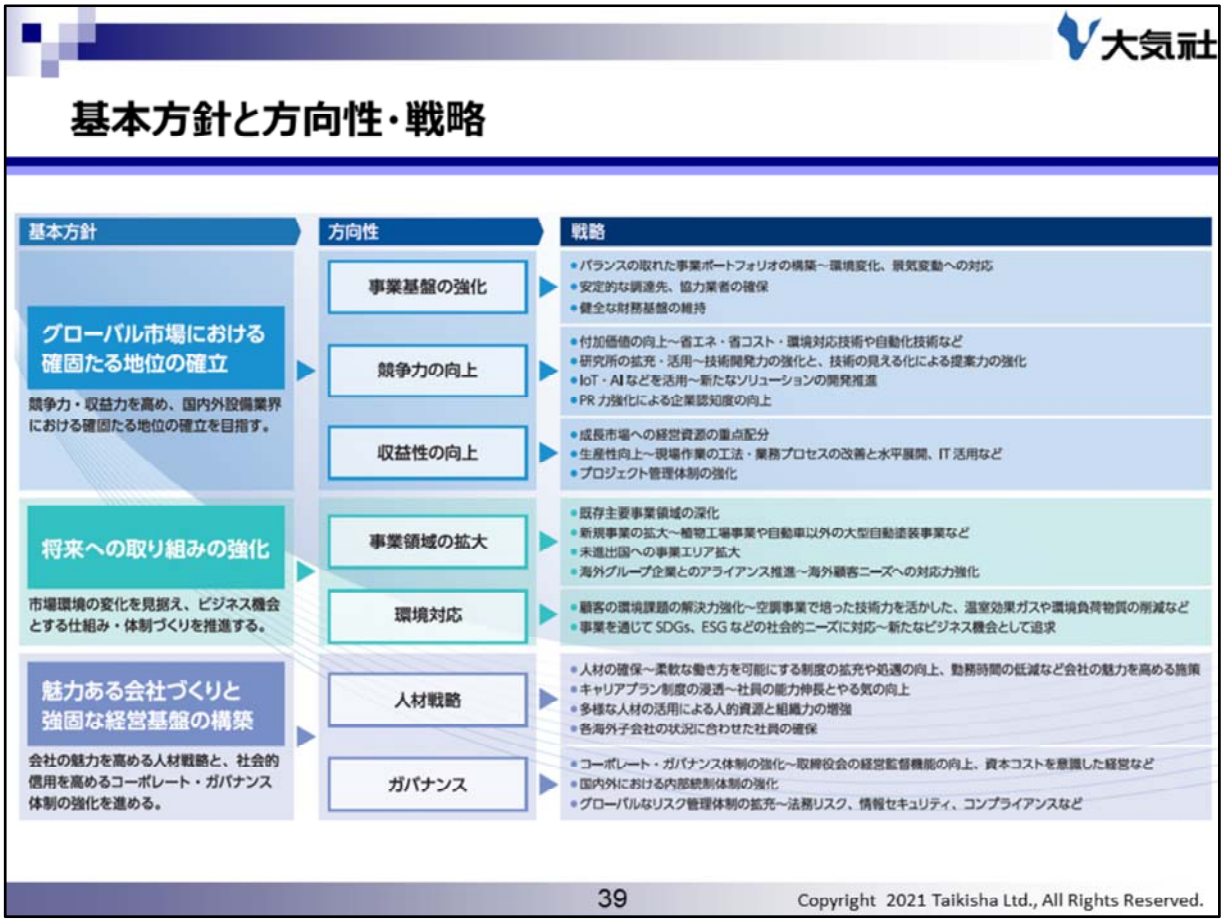


経営企画本部長の中川です。

ここからは、中期経営計画の各戦略における主要な取り組みをご説明いたします。



当頁は、本中計の『長期ビジョン／数値目標／投資テーマ』について記載しております。



こちらは『基本方針と方向性・戦略』です。

大気社

各戦略における取り組み　～今期の実績①～

戦略：新規事業の拡大～植物工場事業や自動車以外の大型自動塗装事業など

植物工場事業の領域拡大及び自社量産工場建設

当社は植物工場事業のさらなる領域拡大・拡充を目的に、プラント建設から野菜の生産・販売まで一貫したソリューションを提供する100%出資の子会社「株式会社ベジ・ファクトリー」を設立しました。あわせて埼玉・杉戸町に、初の自社量産実証工場を建設中です。（2021年7月竣工予定）

今回の子会社設立により、当社グループは野菜生産販売の総合アグリ事業者としての新たなブランド構築を目指します。中期的に業務用市場で一定のシェアを確保したのちには、外食市場や健康食品、医薬品関連企業とも協力し、成長が期待される「食・健康・医療」の領域への参画や、新商品開発や原材料製造などの新しい市場の開拓も視野に入れていきます。

2021年7月竣工予定の杉戸量産実証工場

40

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

それでは、中計の各戦略に基づく取り組みのうち、2021年3月期の実績を３つほど挙げさせていただきます。

1つ目は、『新規事業の拡大』における実績としまして、植物工場事業のさらなる領域拡大と、初の自社量産工場の建設です。

これを機に、当社グループでは、プラント建設から野菜の生産・販売まで手がける総合アグリ事業者として、新たなブランド構築を目指してまいります。

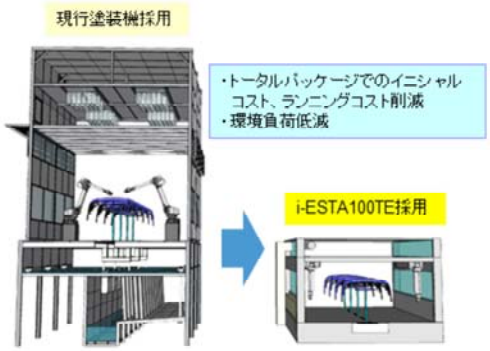
大気社

各戦略における取り組み　～今期の実績②～

戦略：付加価値の向上～省エネ・省コスト・環境対応技術や自動化技術など

“塗着効率100%”の自動塗装システムを実現

当社は、電気で塗料を微粒化する静電霧化塗装システム「i-ESTA100TE」をトヨタ車体株式会社様と共同で開発しました。
従来の空気の力で塗料を微粒化していた塗装機の塗着効率は70%程度であったことに対し、新型の静電霧化塗装システムは、エアーを使わず、塗料の微粒化と塗料粒子の車体への塗着に静電気の力だけを用います。これにより、塗着効率100%を実現することができ、ブース関連設備の簡略化・エネルギー削減に加え、環境負荷の低減が可能となりました。



i-ESTA100TE採用によるブース小型化・簡略化

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

2つ目は、中計の戦略『付加価値の向上』における実績としまして、“塗着効率100%”の自動塗装システムの実現です。

当社は、電気で塗料を微粒化する静電霧化塗装システム「i-ESTA100TE」をトヨタ車体株式会社様と共同で開発しました。

本システムにより、これまで難しいとされた塗着効率100%を実現し、ブース関連設備の簡略化・エネルギー削減に加え、環境負荷の低減が可能となりました。

大気社

各戦略における取り組み　～今期の実績③～

戦略	今期の実績
人材の確保 ～柔軟な働き方を可能にする制度の拡充や処遇の向上、勤務時間の低減など会社の魅力を高める施策	**テレワーク制度の導入** 2021年4月より、従来のテレワーク勤務のルールを一部変更。アフターコロナにも対応した制度に拡充。
	「健康経営優良法人2021」（ホワイト500）に認定 従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人として、「健康経営優良法人2021　大規模法人部門（ホワイト500）」に認定された。

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

実績の3つ目は、『人材の確保』の戦略に基づく取り組みであり、テレワーク制度の導入と「健康経営優良法人2021」（ホワイト500）の認定取得です。

今後も、柔軟な働き方を可能にする制度の拡充や処遇の向上、勤務時間の低減など会社の魅力を高める施策を推進してまいります。

大気社

各戦略における取り組み　～進行中の主な取り組み①～

戦略	進行中の主な取り組み
付加価値の向上 ～省エネ・省コスト・ 環境対応技術や自動化技術など	**高塗着効率塗装システムの開発・商品化** CO_2削減につながる、高塗着効率塗装システムの開発・商品化を推進中。
研究所の拡充・活用 ～技術開発力の強化と技術の見える化による提案力の強化	**技術開発センター（愛川）の実証センター化** 環境システム事業関連技術の顧客への提案を行う見学施設として再構築を検討中。
IoT・AIなどを活用 ～新たなソリューションの開発推進	**予兆保全と品質解析システムの開発・事業化** IoT・AI を活用して稼働停止や品質不良発生時の要因解析を行うシステム「i-Navistar」の導入拡大に向け営業活動推進中。

43

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁からは、各戦略における進行中の主な取り組みについて記載しておりますのでご参照ください。

大気社

各戦略における取り組み　～進行中の主な取り組み②～

戦略	進行中の主な取り組み
生産性向上	**図面作画・積算業務の自動化システムの開発** 図面の自動作画や自動積算のシステムを開発中。
	経費精算システムの導入 経費精算システムの導入を検討中。システム導入によりペーパーレス化および業務プロセスの効率化を実現。
新規事業の拡大 ～植物工場事業や自動車以外の大型自動塗装事業など	**航空機・鉄道車両、一般産業向け自動研磨装置及び100%塗着効率塗装ガンの開発・事業化** 導入拡大に向け営業活動推進中。
未進出国への事業エリア拡大	**未進出国への拠点設立の検討** 今後の投資が期待できる地域への新規拠点設立を検討中。

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

大気社

各戦略における取り組み　～進行中の主な取り組み③～

戦略	進行中の主な取り組み
人材の確保 ～柔軟な働き方を可能にする制度の拡充や処遇の向上、勤務時間の低減など会社の魅力を高める施策	**同一労働同一賃金を求める法改正への対応** 改正法の主旨に基づき、非正規社員と正規社員間の処遇差異の見直しを実施。詳細内容はすでに決定しており、近く改定予定。
多様な人材の活用による人的資源と組織力の増強	**多様な人材の採用と活用** 女性活躍を推進すべく、ライフイベントに応じた柔軟な休暇・休職の取得や復職後の職務訓練指導を実施。また、政府が推進する70歳雇用への対応について検討中。

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

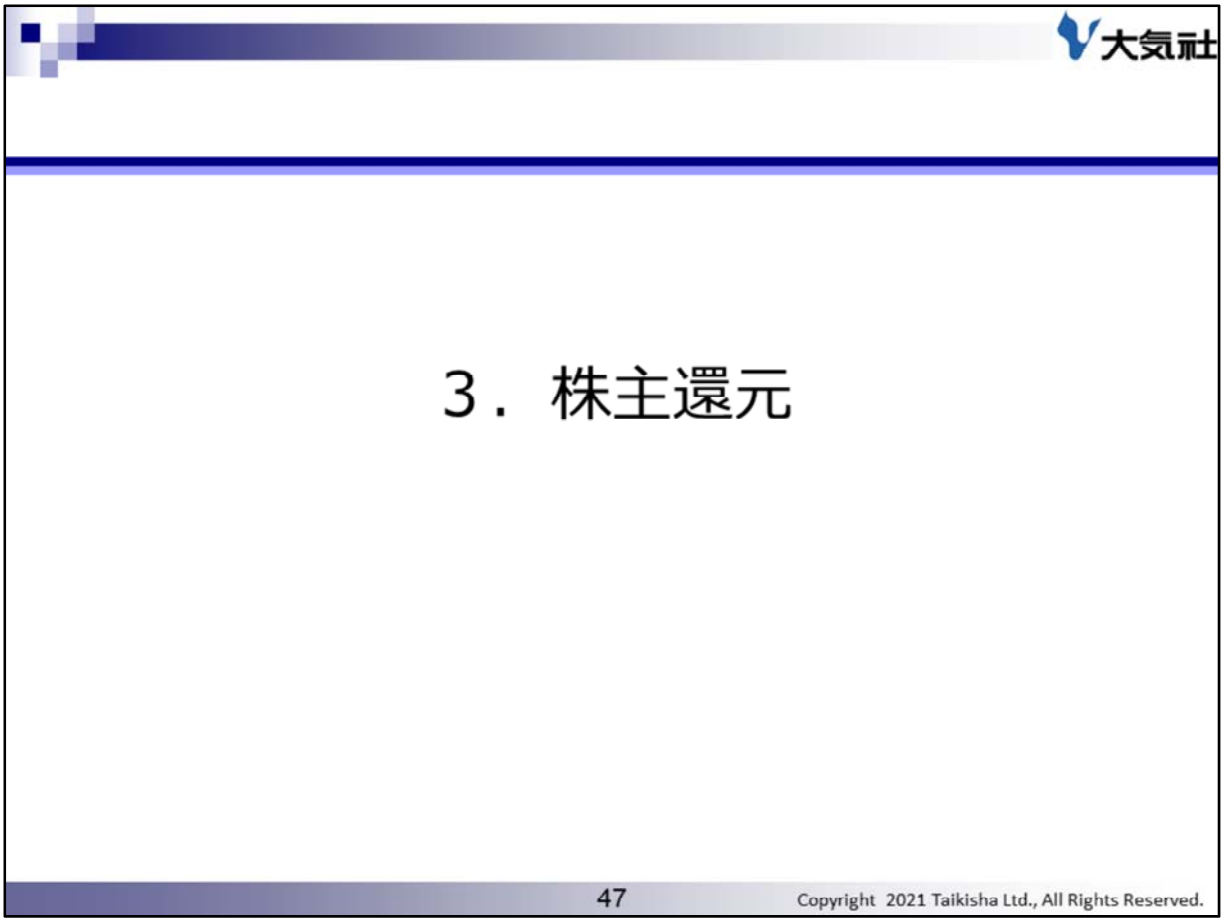
大気社

各戦略における取り組み　～進行中の主な取り組み④～

戦略	進行中の主な取り組み
コーポレート・ガバナンス体制の強化 ～取締役会の経営監督機能の向上、資本コストを意識した経営など	**資本コストや資本・配当政策に関する検討の深化** 企業価値向上を目指し、資本コストを意識した経営や資本・配当政策に関する検討を推進中。
国内外における内部統制体制の強化	**内部統制体制の強化** グループ全体のITを健全に維持・監督する内部統制体制の強化に向けた対応を検討中。
グローバルなリスク管理体制の拡充 ～法務リスク、情報セキュリティ、コンプライアンスなど	**グローバルな情報セキュリティ対策の強化** 海外子会社における情報セキュリティ対策の強化を検討中。

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

今後も、半期毎の決算説明資料におきまして、進捗のご報告をさせていただく予定です。



最後に、当社の株主還元についてご説明いたします。

大気社

株主還元　　自己株式の取得・消却

取得実績

実施年月	株数(千株)	単価(円)	金額(百万円)
2005年12月	40	1,933	77
2006年 2月	597	1,780	1,062
2006年7,8月	500	1,401	700
2011年 8月	300	1,576	472
2012年11月	600	1,614	968
2013年12月	800	2,170	1,736
2015年 5月	680	3,245	2,206
2016年11月	356	2,805	999
2017年11,12月	136	3,654	499

消却実績

実施年月	株数(千株)	単価(円)	金額(百万円)
2008年 8月	1,200	1,593	1,912
2018年 2月	1,700	2,443	4,154

処分実績（ESOPにて）

実施年月	株数(千株)	単価(円)	金額(百万円)
2013年 2月	180	1,860	334

48

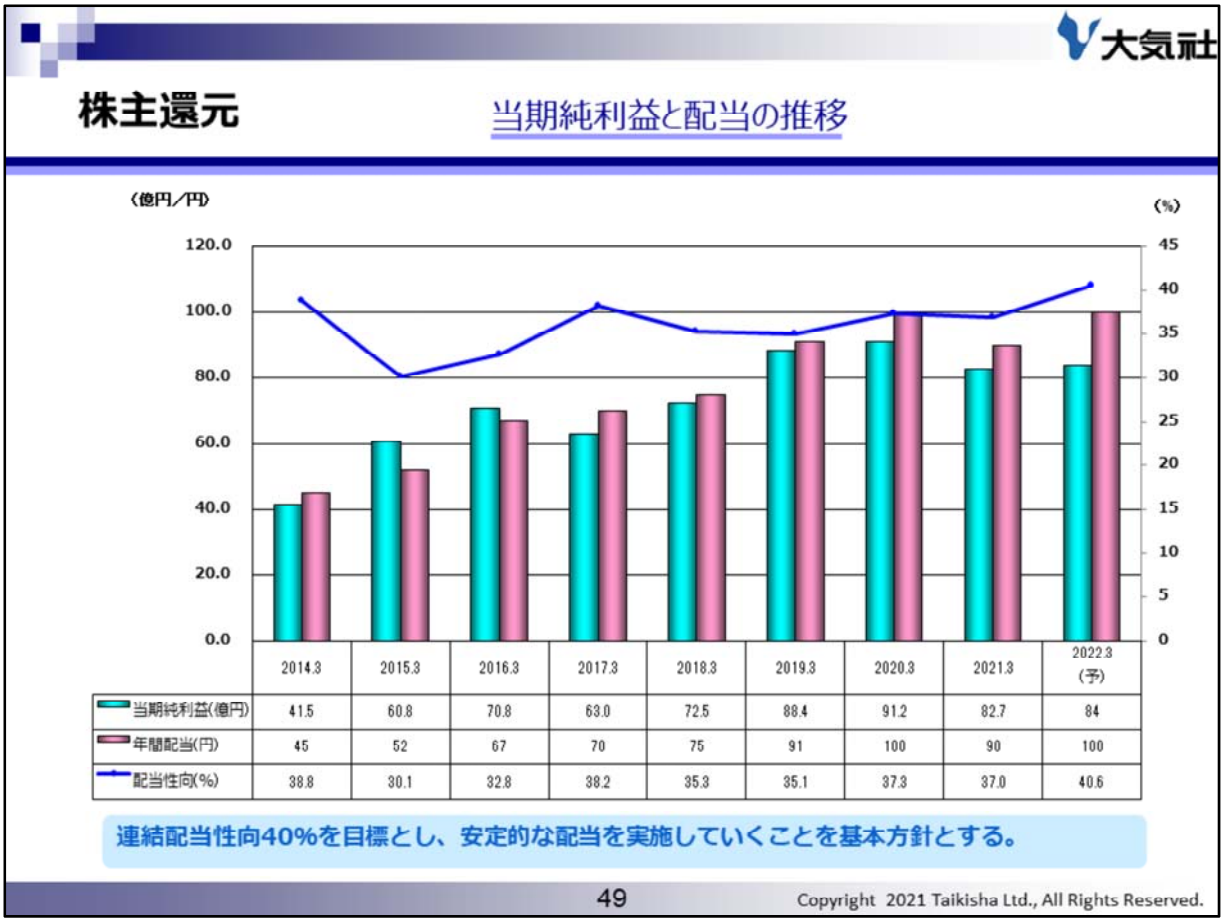
Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.

当頁では、自社株式の取得・消却についてご案内いたします。

基本方針としましては、資本効率の向上と機動的な財務政策の実現を目的として、自社株取得・消却を弾力的に実施していきます。

加えて、安定的かつ持続的な成長を実現するために、新たな成長につながる投資へ向けることも重要と考えています。

自己株式の取得については、今後も利益見通しに基づき、成長投資のための資金ニーズおよび配当金額等の状況を考慮したうえで総合的に判断し、弾力的に実施していきたいと考えております。



当頁においては、配当についてご案内いたします。

当社は、利益配当金による株主の皆様への利益還元を最重要施策のひとつとして考え、連結配当性向35%を目標とし、安定的な配当を実施していくことを基本方針として掲げておりました。

2022年3月期につきましては、利益配当金による株主の皆様への利益還元の強化を図るため、連結配当性向を５%引き上げ、連結配当性向40%を目標とし、安定的な配当を実施していくことを基本方針とすることに決定いたしました。

これにより、2022年3月期の年間配当は、過去最高益を記録した2020年3月期と同額の100円となる見通しです。

本日のご説明は以上となります。

ご清聴いただき、ありがとうございました。

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問合せ先
株式会社大気社　経営企画本部 経営企画部 広報課
TEL：03-5338-5052　FAX：03-5338-5195

Copyright 2021 Taikisha Ltd., All Rights Reserved.